

官報

號外

明治三十一年十二月九日

金曜日

印刷局

第十三回 衆議院議事速記録第四號

明治三十一年十二月八日(水曜日)午後一時十一分開議

議事日程 第三號 明治三十一年十二月八日

午後一時開議

- 第一 所得稅法改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 酒造稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 自家用酒稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 混成酒稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 酒精營業稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 醫藥用、工業用酒精ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十三 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十五 關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十七 間接國稅犯則者處分法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十九 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十一 葉煙草專賣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十三 沖繩縣船稅廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十五 營業稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十七 印紙稅法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十九 明治三十一年勅令第七十號(政府提出承諾)
第三十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第三十一 水害地方地租特別處分法案(前川鐵道君外三十一名提出) 第一讀會

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(寺田書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

地租條例中改正法律案

田畑地價修正法律案

明治三十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特追第三號)

工藤行幹君島田三郎君星松三郎君首藤陸三郎君清國債金ノ一部ヲ普通小學校基金ト爲スノ建議ニ付質問書ヲ提出セラレタリ

特別委員左ノ通指名セリ

北海道舊土人保護法案委員

福田 久松君 奈須川 光寶君

阿部 興人君 下飯坂權三郎君

小林 乾一郎君 杉田 定一君

生絲檢査所法中改正法律案委員

小松 喜平治君 永井 嘉六郎君

小山 久之助君 本城 安次郎君

星野助左衛門君 星野甚右衛門君

登錄稅法中改正法律案委員

木村 暫太郎君 大津 淳一郎君

堀越 寬介君 飯島 正治君

大塚 成吉君 (左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

清國債金ノ一部ヲ普通小學校基金トナスノ建議ニ附テノ質問

支那政府ヨリ得タル債金中其幾部分ヲ全國普通小學校ノ基金トシテ交

附セラレ度旨曩日ノ帝國議會ニ於テ貴衆兩院ヨリ各政府ニ建議セリ

政府ハ之ヲ採用セラハヤ否ヤ

政府ニ於テ果シテ採用セラハ、ナラハ政府ハ其處分案ヲ當議會ニ提出

セラル、ヤ否ヤ

右成規ニ依リ提出ス

明治三十一年十二月五日

提出者 工藤 行幹

贊成者 星 松三郎

德差 藤兵衛

外三十三名

島田 三郎
首藤 陸三

○工藤行幹君(百二十五番) 議長
○議長(片岡健吉君) マダ發言ヲ許シマセヌ——是ヨリ會議ヲ開キマス
○内閣總理大臣(侯爵山縣有朋君) 議長
○議長(片岡健吉君) 總理大臣山縣有朋君

(内閣總理大臣侯爵山縣有朋君演壇ニ登ル)

○内閣總理大臣(侯爵山縣有朋君) 諸君、本大臣ハ今回再び大命ヲ畏キマシテ重任ヲ拜スルコトハ、誠ニ本大臣ノ光榮ト致ス所デアリマス、御承知ノ如ク内閣ハ議會召集ノ間際ニ於テ更迭致シマシテ、本大臣等ハ拜命以來、必要ノ國務ニ就イテ攻究致シマスルニ十分ノ間合モゴザイマセヌ、併ナガラ第九議會ニ於キマシテ經營ノ端ヲ開キタル國家自衛ノタメニ必要ナル國防並ニ國運ノ進歩ニ伴フ所ノ事業ノ計畫ニ至リマシテハ、前内閣前々内閣ヨリ受繼來セバ宜シイコトデアリマスルガ、奈何セン物價ノ騰貴並ニ時勢ノ變遷ニ伴ヒマシテ、經費ハ豫期ノ外ニ超出致シマスルハ、實ニ免レザルコトデアリマス、又此計畫ニ伴ヒマシテ、新ニ著手スル事項モ間、アリマス、故ニ第十一議會以來、當局者ハ種々ノ計畫ヲ立テ、提出致シマシタガ、不幸ニモ議會ノ解散等ノタメニ成立致シマセヌ、故ニ財政ノ基礎ハ遂ニ今日マデ確立致シマセヌ、是ハ上下舉ゲテ實ニ遺憾ト致ス所デアリマス、此事ハ當初以來此目的ニ協賛ヲ致サレタル所ノ諸君ニ於キマシテモ、必ズ御同感デアラウシ信ジマス、本大臣ハ就任日淺キニモ拘ラズ、財政ヲ鞏固ニスル宿題ニ就キマシテハ、速ニ計畫ヲ盡サシテ當議會ニ提出致シマシタ、尙ホ詳細ノコトニ至リマシテハ、大藏大臣ヨリ辯明致サレル筈デアリマス、諸君、我帝國ノ締盟各國トノ交際ハ年々逐々テ親密ヲ加ヘツ、アリマス、又東洋ノ局面モ追々多事ニ赴キマス、ケレドモ、列國トノ關係ハ至極圓滑ニ進行シツ、アリマス、是ハ諸君ト共ニ誠ニ喜ブベキコトデアリマス、併ナガラ時勢ノ進歩ハ一刻モ停止致シマセヌ、寸時モ休息ハ致シマセヌデアリマス、此間ニ立ッテ後レザルヤウニ致スタメニハ、教育ハ勿論、殖産交通貿易等ノ獎勵發達ハ、一日モ緩ウスルコトハ出來マセヌ、即チ戰後經營ノ半途ニシテ中止スベカラザル譯合デアリマス、本大臣等ハ計畫ヲ盡シテ、先ヅ財政ヲ鞏固ニシ、國家ノ信用ヲ敦ウシ、一般經濟ノ融和ヲ求メマシテ、漸次公私ノ事業ノ舉ランコトヲ偏ニ望ム次第デアリマス、又我國民ノ多年宿望デアリマシタ條約改正ハ、遠カラズシテ實施ノ期ト相成リ、我帝國ノ地位モ大ニ高マルコト、存ジマス、是ト同時ニ内外人ノ等シク安堵致シマシテ、互ニ温情ヲ以テ相交リ相親シミ好良ノ結果ヲ收メナケレバナラヌコト、存ジマス、此實施ノ方法順序ニ於キマシテハ、政府ハ十分ナル慎重ノ調査ヲ致シツ、アリマス、又實施ノ準備ニ於テハ、手落ノナイヤウニ心懸ケルハ勿論デアリマス、諸君モ亦一般國民ト共ニ、茲ニ十分ノ注意ヲ加ヘラレンコトヲ望ミマス、前條陳述致シマシタル趣旨ニ基キマシテ、政務ノ執行ヲ致スニ就キマシテハ、其最モ緊急ナル議案ト認ムルモノヨリ、當期議會ニ提出致シマス、幸ニ諸君ノ公平ナル審議協賛ニ依リマシテ、國政ノ疏通發達ニ至ランコトヲ本大臣ガ關係ト共ニ切ニ國家ノタメニ望ム所デアリマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 議長
○議長(片岡健吉君) 大藏大臣松方正義君

(大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 諸君、今ヤ三十二年度ノ豫算ヲ提出スルニ際シ、諸君ニ向ッテ一言スルハ、本大臣ノ光榮トスル所デゴザリマス、抑、三十二年度ノ豫算ハ國運ノ進行ト共ニ膨脹ヲ免レザルハ、諸君ノ既ニ諒セラレタル所デゴザイマセヌ、本大臣ガ就職前ニ於テ、三十二年度ノ豫算ハ、前内閣ニ於テ、既ニ編成ヲ終ッテ居リマシタ、政府ハ之ヲ相當ト認メタルガ故ニ、其儘ニ之ヲ提出スルコト、致シマシタ、諸君ノ御承知ノ通、我財政ノ現況ハ甚ダ不安ニ堪ヘザルモノアリ、何トナレバ三十二年度ノ歳入ハ二億二千六百三十四萬四千七百圓餘ニシテ、歳入ハ一億八千八百七十三萬八千四百圓餘、差引キ、歳入ノ不足實ニ三千七百六十六萬六千三百圓餘ニ達シマス、是レ實ニ政府財政ノ鞏固ヲ計ラザルヲ得ザル譯デゴザイマス、三十二年度ノ歳出豫算ハ前内閣ニ於キマシテモ、努テ節約ノ方針ヲ以テ査定致シタモノデアリマス、ソレニモ拘ラズ、斯ノ如キ歳入ノ不足ヲ見マスルハ、蓋シ物價騰貴ノ餘響、各省一般ニ經費ノ増加シタルト、新條約及法典實施等ノ經費ヲ要シマス、教育及交通機關ノ擴張ニ伴フ經費ノ増加セルコト、其他臺灣ノ經費航海獎勵航路擴張ノ經費ヲ、經常歳入ノ支辨ト爲シタルガ如キ、又新ニ北海道及臺灣ノ國防ニ關シマス、計畫ヲ立テタルガ如キ孰モ國家急需ノモノニシテ、殆ド削減ノ餘地ナク、是レ之ニ應ズベキ歳入補充ノ途ヲ求メンケレバナリマセヌ譯デゴザイマス、ソコデ増稅ニ關シテハ、前内閣ニ於テモ、彼是慎重ニ調査スル所アリシガ、未ダ決定ヲ見ルニ至ラヌモノガアリマシタ、因テ政府ハ更ニ審查ヲ遂ゲマシテ、必要ノ諸法律案ヲ提出致シマシタ、抑、今日ノ急務ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルヨリ先ナルハナシト認メマス、而シテ之ヲ爲シマスルニハ、確實ナル財源ヲ撰擇シナケレバナラヌト存ジマス、是レ政府ガ、地租及酒稅ヲ主トシテ之ニ加フルニ所得稅登錄稅ノ改正等ヲ以テシ、三十二年度ニ於キマシテハ三千三百八十八萬八千四百圓餘ノ歳入増加ノ計畫ヲ立テマシタ、但シ地租酒稅ニ於キマシテハ、納期ノ關係ニ依リ、三十二年度ニ於キマシテハ、課稅ノ全額ヲ得ルコトガ出來マセヌタメニ、三百七十萬圓餘ノ償金ヲ繰替使用セヌケレバ致シ方ガゴザイマセヌ、ケレドモ、三十三年度ニ於キマシテハ、歳入増稅ノ全額ハ四千四百九十八萬二千圓餘ニ達シマス、見込デゴザイマス、果シテ斯ノ如ク成リマスレバ、獨リ歳出入ノ釣衡ヲ得ルニ止マラス、實ニ政府ノ財政ヲシテ健全鞏固ナル基礎ニ立タシムルコトヲ得ルコトハ、必定デゴザイマス、是レ本大臣ガ切ニ諸君ノ御諒察ヲ請ハザルヲ得ザル譯デゴザイマス、前條計畫ノ外、尙ホ製鐵所創立費追加、臺灣事業費、電信改良費等ノ如キ重要ナル事項ニシテ、未定ノ儘本大臣ニ前大臣ヨリ引繼ガレタモノガアリマス、目下審査中デアリマス、適當ノ計畫ヲ立ツルコトヲバ、他日議會ニ提出スルコトガアリマセヌ、歳出増加ノ理由及ビ増稅ノ方法ニ關スル詳細ノ説明ハ、各々其審議ノ場合ニ讓ッテ置キマス、殊ニ一言セザルベカラザルハ増稅ノ法案中明年一月ヨリ實施ヲ要スルモノガアルコトニシテ、是等ハ成ルベク速ニ議決アラント切望シマス、即今國費ノ増加ハ中外ノ形勢上、到底避クベカラズ、内ニ於テハ行政機關ノ整備ヲ要ス

ルアリ、物價ノ騰貴アリ、外ニ於テハ東洋ニ於ケル列國ノ情勢大ニ變ズ、而シテ本大臣ハ我大日本帝國ハ、此中外ノ形勢ニ應ジテ其機宜ヲ制スルニ足ルノ國力ヲ保有スルハ、確信シテ疑ハザル所ナリ、唯財政其宜シキヲ失シ、姑息彌縫ヲ事トスル如キアラバ、如何シテ此國力ヲ發揮スルコトヲ得ンヤ、昨年來不幸ニシテ政府ト議會ト、和衷協同ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來マセズ、國家ノタメニ實ニ痛歎ニ堪ヘヌ次第デゴザイマス、萬一不幸ニシテ亦増稅案ノ通過セザルヤウナコトガアリマシタナラバ、知ラズ何ノ日カ財政ノ基礎ヲ鞏固ニ爲スコトガ出來マセウカ、否ナ、戰後經營ノ事業モ中途ニシテ挫折シ、民間ノ生産事業モ萎靡シ、我財政ノ信用ヲ中外ニ失墜シ、國家ノ進運モ此ニ阻廢スルヤ亦知ルベカラズ、諸君、誠意誠心以テ公平慎重ニ調査ヲ爲サレ、幸ニ政府提出ノ財政諸案ニ協贊ヲ與ヘラル、コトニ至リマシタナラバ、財政ノ基礎確立シ、經濟界モ其適從スル所ヲ知リマシテ、隨ツテ沈滞セシ工業モ振起シ、金融モ敏活ニ、交通機關モ追々發達スルコトハ、期シテ待ツベキコト、考ヘマス、諸君、冀クハ斯ノ如クニシテ、我大日本帝國ノ前途ヲシテ益々多望ナラシメ、富國強兵ノ實ヲ舉ゲ、帝室ノ尊榮ヲ隆ンナラシメ國民ノ幸福ヲ大ナラシメンコトヲ、是レ本大臣ガ増稅案ノ通過ヲ切ニ希望シマスル譯合デゴザイマス

○工藤行幹君(百二十五番) 議長

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○工藤行幹君(百二十五番) 質問書ノ說明ヲ致シマス

○金岡又左衛門君(十四番) 唯今大藏大臣ノ御演說ニ就イテ質問ヲ試ミタイ

○議長(片岡健吉君) ヲレデハ十四番ニ發言ヲ許シマス、ドウゾ御發言ヲ……

○金岡又左衛門君(十四番) 唯今大藏大臣ヨリシテ三十二年度ノ歳入歳出ノ豫算ニ就イテ、詳シク御說明ニナリマシタガ、實ニ本員ハ三十二年度ニ於テ二億二千四百萬圓ノ歳入歳出ノ、實ニ大イナル所ノ此豫算ヲ受取りマシテ、國家前途ノタメニ憂苦措ク能ハヌノデアリマス、實ニ寒心ニ堪ヘヌノデアリマス、已ムヲ得ズ此處ニ一言ヲ呈シテ大藏大臣ノ說明ヲ請ヒタイと思ヒマス、曩ニ今ノ大藏大臣即チ松方伯ガ總理大臣ト爲ラレマシテ、第十議會ニ提出ニナリマシタ所ノ總豫算ヨリ比較シテ見ルト、實ニ七千五百萬圓ノ即チ過大ナル所ノ案ガ、此三十二年度ノ今日即チ漸ク三十二年度ヨリ本年ニ至ルマデ、二年ノ間ニ七千五百萬圓ノ膨脹シタ豫算ガ出タモノデアリマス、成ル程前ニハ總理大臣ノ御演說ニ依ツテ、物價ノ騰貴若クハ國是ノ變遷上已ムヲ得ザルト云フコトガアリマシタガ、成ル程或ハ物價騰貴ト云フコトモ、多少此案ニ就キマシテハ關係ヲ持ツテ居リマセウ、又國是ノ如何ト云フコトモアリマセウ、ケレドモ僅カニ二年ノ間ニ、七千五百萬圓ノ誠ニ龐大ナル所ノ豫算案ヲ受ケマシテハ、到底吾々ハ此負擔ニ堪ヘルコトハ、將來我國ニ於テハ出來ヌモノト信ズルノデアアル、假ニ一步ヲ讓リマシテ、今日ノ歳入歳出ノ豫算ガ、是ガ最早最モ高イ程度ト致シマシテ、三十三年度以後ニ於テハ大イニ歳出ノ漸々減却セラレツ、アルモノカト申シテ見レバ、決シテサウデハナク、益々三十三年度以後ニ至ツテハ、此豫算ノ龐大スルト云フコトハ、是ハ免ルベカラザルコトデアアル、然ラバ如何シテ之ヲ宜シクスルカト申セバ、吾々ハ唯此上ニ於テハ、遺憾ナガラ軍備ノ擴張ヲ止メマシテ、此軍備ノ制度ヲ縮少スルノ外ニ途ガナイと思

フノデアリマス、ト申シマスルモノハ、既ニ現ニ三十二年度ノ歳入歳出追加豫算ト云フモノガ出マシタガ、此一案デスラ實ニ二千萬圓ニ近イ追加豫算ガ出タモノデアアル、是ハ何デアアルカト申シテ見レバ、臺灣ニ於ケル澎湖島ノ砲臺建築若クハ第七師團ノ屯田兵ノ組織ヲ内地ノ師團ト同ジク擴張スル、即チ此併テ二千萬圓ノ案ハ、四年若クハ七箇年ノ繼續トシテ出マシタガ、此二千萬圓近イ金ハ取りモ直サズ、第三期ノ軍備擴張ト申シテモ可ナルモノデアアル、然ルニ其說明ヲ見レバ則チ國防上已ムヲ得ザルモノデアアルト、斯様ニ說明レテアル、無論或ハ國防上カラ申シタナラバ、必要ハ必要デアリマセウ、サリナガラ茲ニ即チ國民ノ力ト云フコトヲ算出シテ見ナケレバナラヌ、今一例ヲ舉ゲレバ前ニ第十一議會マデニ提出サレテ居リマシタ所ノ、甚ダ些細ナモノデアリマスケレドモ、製鐵所ノ創立費ト云フモノハ、三百五十萬圓デアツタデアアル、然ルニ唯今ノ提出ニナリマシタ案ヲ見レバ、殆ド之ニ増スコト三倍、九百五十萬圓ト云フモノヲ要求シテアル、僅カ五箇月カ六箇月ノ間ニ、斯様ニ三百五十萬圓ノモノガ九百五十萬圓マデ、膨脹シナケレバナラヌト云フコトハ、甚ダ本員等ニ於テ最モ不審ニ堪ヘザルモノデアアル、コレカラ總令是デ一步ヲ讓ツテ、此三千五百萬圓ノ増稅ヲシテ、吾々ハ涙ヲ飲ンデハ協贊ヲ與ヘルトシマシテ、コレデ果シテ我國ノ將來ノ財政ガ、鞏固ニナルカ否ヤト申セバ、決シテ鞏固ニナルモノデハナイ、私ハ今日御尋シタイト申スノハ、三十二年ニ於キマシテ我國ノ師團即チ海軍ハ二十一萬噸マデニシ、或ハ陸軍ハ十二師團半ヲ置クト致シマシタ所デ、此海軍ハ如何ニシテ將來維持スルノデアリマスルカ、即チ此三十二年度ノ豫算ヲ見マシテモ、決シテ此軍艦ノ補充費ト云フモノハ少シモ出テ居ナイノデアアル、吾々ノ聞ク所ニ據リマスレバ、軍艦ノ保存期限ト云フモノハ、大略今日ノ處ハ十五箇年ト云フコトニ承ツテ居ル、即チ今日我國ノ軍艦ガ向フ十五箇年後ニ至リマスレバ、殆ド其戰闘ノ用ヲ爲サナイト云フコトニナツテシマウノデアアル、然ラバ此二十一萬噸ノ海軍ノ勢力ヲ維持スルニ於テハ、少クモ一年ニ於テ一萬五千噸若クハ二萬噸ノ海軍ヲ年々更ニ新造ヲ致シマシテ、始テ二十一萬噸ノ勢力ヲ得ルコトガ出來ルノデアアル、然ラバ此一萬五千噸若クハ二萬噸ノ軍艦ヲ製造スルニハ、千五百萬圓若クハ二千萬圓ト云フモノ、用意ガナケレバナラヌノデアアル、然ルニ是等ノモノガドコニアリマスルカ、即チ今ヨリ十五年若クハ二十年ノ後ニ至ツテ忽ニシテ二十一萬噸ノ軍艦製造費ハ如何ナルモノカラ支出スルカ、今日ハ幸ニシテ債金ガアリマスルカラ、之ヲ以テ支出スルコトガ出來マセウガ、是カラ後ニ二十一萬噸ノ軍艦ヲ一時ニ拵ヘルコトニナツタナラバ、無論出來ナイ話デアアル、シテ見タナラバ、二十一萬噸ノ海軍ヲ維持スルニハ、少クトモ年々一萬五千噸若クハ二萬噸ノ軍艦ヲ新ニ拵ヘテ行カナケレバ、二十一萬ノ勢力ヲ得ルコトハ出來ナイ、又陸軍ニ於キマシテハ兵器ノ改良ハ必要デアアル、然ルニ此豫算ヲ見ルニ年々兵器ノ改良ニ就イテハ幾ラノ金ガアルカト云ヘバ、殆ドナイト一般デアアル、又此陸軍ノ兵器ノ改良モ五年若クハ七年ノ間ニ於テハ、即チ今日ノ利刀ト頼ムノガ、六七年若クハ七八年ノ後ニハ即チ鈍刀トナル有様デアアル、然ルニ此七八年ノ後ニ至ツテハ、今日ノ利刀ガ即チ鈍刀トナル、其時ニ至ツテ一時ニ此兵器ノ改良費ヲ如何ニ之ヲ求メタ所デ、此國民ノ力デハ出來ナイ、即チ陸軍ノ兵器ノ改良又海軍ノ補充——軍艦ノ補充、

ソレ等ノコトハ如何ナル案ニ依ッテ、政府ハ之ヲ補充シテ行カレル見込デア
リマスルカ、吾ハモウ二三年ノ後ニ至ッテ軍備ノ擴張ガ整ウテシマツテ、イザ
是カラ補充シテ行カウト云フ場合ニ至ッテ、其金ノ出途ガナケレバナラス、
ソレガナイコトニナツタナラバ、果シテ如何デゴザイマセウカ、即チ私ハ其
時ニ至ッテ躊躇ヲ噓ムノ悔ミヲ遺シテモ仕方ガナイコトデアリマスル、今日ニ
於テハ甚ダ後レタルヤウナコトデアリマスルケレドモ、已ムヲ得ズ今日ノ
國力ニ對照シマシテ、縮小スルヨリ外ニ途ガナイト思ヒマスルガ、私ガ唯今
御尋シマスル所ノ陸軍ノ兵器ノ改良、ソレカラ海軍ノ補充、此二案ニ就イテ
ハ、如何ナル稅源ヲ以テ充テラレルト云フ御考デアアルカト云フコトヲ大藏大
臣ノ説明ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 大藏大臣松方正義君

(大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 唯今ノ御質問ニ對シマシテハ、何レ——委員
會デ、尙又數字ノ事杯モ少シ間違ッテ居ルコトモ段々ゴザリマス(然リキヤ)
ト呼フ者アリ) 其節政府委員ヨリ詳シク御説明ヲ致シマス、其上又豫算會議
ノ審議モゴザイマセウカ、其節一々政府委員ヨリ御答辯致シマスル
○金岡又左衛門君(十四番) 尙ホ一應御質問ヲ致シマス、然ラバアナタノ御
考デハ今御提出ニナリマシタ所ノ三千七百萬程増稅シタナラバ、將來ニ於テ
我國ノ財政ノ基礎ハ、鞏固ニナルト云フ御考デアリマセウカ、或ハ恐ル、二
年三年ノ後ニハ、又モ増稅案ト云フモノヲ提出スルト云フヤウナコトニナリ
ハシマスマイカ、既ニ第九議會ニ於テハ其時ノ大藏大臣ハ是レキヤノ案ヲ出
シテ是レキヤデアッタナラバ、將來ノ日本ノ財政ノ基礎ハ鞏固デアアルト云フコ
トヲ言ハレタノデアアル、然ルニソレヨリ二年ヲ經ザル内ニ、又三千七百萬圓
ノ金ガ足ラヌト云フコトニナル、然ルニ唯今ノ御説明ニ依レバ、是レナラバ
即チ將來ノ日本財政ノ基礎ハ、實ニ鞏固デアアルト云フコトヲ先程ノ御演説ニ
アッタヤウデスガ、私ノ恐ル、所ハ二三年ノ後ニハ又今日ノヤウナコトヲ再
ビセラレルデハナイカト云フコトガ、心配ニ堪ヘマセウカ、茲ニ大藏大臣
ノ確然タル答辯アラントラ望ムデアリマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 分リマシタ、今日ノ所デハ提出ノ増稅案ガ通
過致シテ、ソレダケノ金額ガ歲入ニ増加スルヤウニ至リマシタナラバ、私ハ
今日ノ財政ハ鞏固ニ違ハナイト考ヘマス、又將來此時運ノ變遷ニ就キマシテ
ハ、ソレハ神デモ豫期スルコトハ出來マスマイ、(ヒヤノノト呼フ者アリ)

幸ヒ御質問ガゴザイマスカラ、其邊ノ御懸念ハ御尤デゴザイマスカラ、一言
添ヘテ御返事ヲ致シマセウガ、今日ノ財政ニ於キマシテハ、最前モ陳述致シ
マス通ニ實ニ内輪ノコトヲ詳細御調査ニモナツテ見マシタナラバ、始終彌縫
姑息ノ仕事ガゴザイマシテ、一口ニ申シマセバ俗ニ謂フ遺リ繰財政デゴ
ザイマスカラ、是デハ帝國ノ財政ノ基礎ガ鞏固ト云フ譯デアリマセヌ、斷
ジテ申上ゲマス、内ニ信ズル所ナクシテ外ニ信用ヲ得ルト云フコトハナイ筈
デゴザイマス、今日ノ日本政府ノ財政ハ中外ニ對シテ如何ナル感想ヲ以テ居
マセウ、私ハ帝國ノ財政ニ就キマシテ、今日ノ如ク財政ノ困難ニ至ツタト云
フコトハ是マデナイト考ヘマス(誰ガシタ、政府ノ罪デアアルト呼ビ、又「軍
備擴張ノ過大ニ失スルガタメニ茲ニ至ツタ」ト呼フ者アリ) 幸ニシテ償金杯

ノゴザイマシタ故デ、ソレデ彌縫シテ居マシタ、然ルニ償金ハソレノ計畫
ニモナツテ居ル金筋デゴザイマスカラ、餘程慎重ノ御考案ヲ願ヒタイノデゴ
ザリマス、又今日ハ二九年ノ計畫ヨリ三十年ノ計畫ニ續キマシテ、所謂俗
ニ謂フ第一期第二期ト申シマスル計畫ヨリシテ見マスル、内國債ノ募集ノ
額サヘモ二億二千萬餘ニナツテ居ルト考ヘマスガ、漸ク今日ハ五千萬餘ノ募
集ニナツタ、マダ後トハ募集スルコトモ出來ヌ市場ノ形勢デゴザイマス、ソ
レデ公債ハ益ニ是カラ募集シマセウケレバナリマセヌガ、如何ニセン今日ノ
市場デハ其コトモ遂グルコトノ出來ヌ景況デゴザイマス、又募集スルニ從
テ國家ノ公債ハ増加致シマスルゾ、ソレデ願ハクハ經常ノ歲出入ヲ以テ、折
ハ此國債モ減少スルヤウニ、將來計畫ヲ立テマセウケレバ、斯ノ如ク内國債
モ多額ニ増加致シマシテハ、將來ノ經濟社會モナカク堪兼ネル有様デアラ
ウト考ヘマス、其邊ハ尙ホ委員會デ御質問ガゴザイマシタナラバ、詳細ニ政府
委員ヨリ數字ノ上ノコト杯ニナツテハ申上ゲマセウガ、能ク一ツ御勘考ヲ願
ヒタイ

○工藤行幹君(百二十五番) 私モチヨット質問致シタイ、私ハ大抵質問ハ止
メヤウト思ウテ居リマシタガ、唯今ノ松方大藏大臣ノ御演説ニ就イテ、如何
ニモ疑ガ起ツタ、ナゼナラバ神ナラナケレバ後來ノ事ハ分ラヌト云フ御演説
ガアツタ、然ルニ松方伯ガ前ニ大藏大臣ノ時ニ、明治二十年度ノ計畫ニ於テ、
二十九年度ヨリ三十八年度マデノ十箇年ノ計畫ト云フモノヲ立テラレテ、吾
吾ニ示シテアルノデゴザイマス、是ハ二十九年度カラ三十八年度マデノ間、何
ノ歲ニ於テハ凡ソ是ダケニナル、何ノ歲ニ於テハ凡ソ是ダケニナルト云フ、
財政ノ計畫ヲ示サレタノデアアル、是ハ神デナクモ、此十箇年間ノ事ガ分
テ居ルカラ、大凡參考トシテ此通リ行カナクモ、大體政府ノ計畫ト云フモノ
ハ、斯ノ如クニナルト云フモノヲ示サレタコト、思フデ、吾ハ之ヲ慎重シ
テ之ヲ守ツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ是ハ此度ハ、大變カリツテ來タノ
デアアル、然ラバ又此十箇年ノ計畫ヲ更ニヤリ直シテ、之ヲ示サレル譯デアリ
マスルカ、或ハ前ニ出シタノハ誤ッタナラ誤ッタデ宜シイ、神ナラヌ身デゴ
ザイマスカラ、誤ッタノハ誤ッタ所デ、更ニ之ヲ御示シ下サルノデアアルヤ否
ヤト云フコトヲ、更ニ十箇年ノ計畫ヲ御示シ下サルコトヲ質問致シタイ

(大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 今ノ御質問ニ御答致シマス、最前申シマシタ
通ニ、今日ノ行懸リデ行キマスレバ、是デ健ニ財政ハ鞏固ニナリマスルト、斯
ウ云フコトヲ申シマシタ、併ナガラ天災地異モアレバ、或ハ人事ノ上ニ又非
常ナ事モ、到來セヌトモ云ヘマセヌ、サウ云フコトハ、私ハ豫期ハ出來マセヌ
ト云フ意味デゴザイマス、ソレデ今日ノ儘デ、此平常デゴザイマスカラ、
私ハ是ナラバ財政ヲ鞏固ニ持ツテ往カル、ト云フ見込ハ、健ニ付イテ居リマ
ス

○工藤行幹君(百二十五番) ソレデチヨット承リマス、決シテ私ハ事變ノア
ルコトヲ承ルザヤナイデゴザイマス、更ニ唯今迄ノ尋常ノ事デアアルナラバ、
是カラ向フ即チ三十八年度マデハ、斯様ノ二日本ノ國家ノ歲出入ニナルト
云フ計算ヲ更ニ御示シ下サルカ否ヤト云フコトヲ承リタイ、之ヲ承ラナケレ
バ唯大藏大臣ガ是デ鞏固デアアルト云ツタ所ガ、御疑ヒ申スデヤアリマセヌガ、
安心ガ出來ナイカラ、前回ノ例ニ倣ツテ、更ニ十箇年ノ計畫ヲ御示シ下サル

ヤ否ヤト云フコトヲ、御尋申シタアリマス
○大藏大臣(伯爵松方正義君) 成程矢張先度ノ十箇年ノ計畫表ヲ拵ヘテ御覽
ニ入レマス

○工藤行幹君(百二十五番) ツレヲ御示シ下サル積デゴザイマスヤ否ヤ
○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレハ拵ヘマスレバ拵ヘラレヌコトハゴザイ
マセヌガ、今日ハ拵ヘテゴザイマセヌ、併ナガラ凡ソノ所ノ表ハ御覽ニ入レ
マスコトハ、即座ニモ出來マス

○高木正年君(百四十四番) 私ハ松方大藏大臣ニ御尋ヲシナケレバナラヌコ
トガゴザイマス、松方大藏大臣ハ地租増徴ノ已ムヲ得ザル理由ヲ、唯今御演
説ニナリマシタガ、大藏大臣ニ於テハ、今日ノ財政ヲ救済シ及國ノ收入ノ基
礎ヲ造ル上ニ於テ、地租ヲ増收セバナラヌト、御言葉デゴザイマシタ、是ニ
就イテ一言御尋申シタイノハ、果シテ松方大藏大臣ハ今日ノ財政ノ計畫ニ就
イテ、地租ノ外ニ他ニ收入ヲ求ムル途ガ無イト云フ御意見デアルカ、ツレヲ伺
ヒタイノデゴザイマス、斯ク申ス所以ハ、松方大藏大臣ハ殊ニ此ノ質問ニ當
テ、詳細ナル答辯ヲ與フベキ義務ノアル人デアアル、私ハ思フノデゴザイマ
ス、丁度唯今工藤君ノ云ハレタル如ク、今日ノ財政ヲシテ斯クナラシメタノ
ハ、即チ松方伯其人ノ既往ニ於テ計畫セラレタ事柄ヨリ今日ニ胚胎シテ、吾
吾ガ其ノ増徴ノタメニ、此財政ノタメニ苦マネバナラヌノデゴザイマス、神
ナラヌ身ニハ分ラヌトハ言ハレタガ、私ハ神デナイカラ松方大藏大臣ガ斯様
ナ財政ノ困難ヲ既往ニナスト云フコトハ、其ノ當時ニ見分ケルコトガ出來ナ
カッタノデゴザイマス、松方大藏大臣ハ日本財政家中ノ第一流ニ居ル人デア
ルカラ、吾ハ常ニ其計畫ヲ信ズルモノデゴザイマス、計畫ノ行懸リ上今日
ノ事柄ヲ來サシメタノハ松方伯其人ナリトセバ、松方伯ハ日本財政家ノ一
トシテ、今日ノ財政ヲ救済シ若クハ我國ノ財政ノ基礎ヲ固ムル上ニ就イテ、
一ノ定案ガナケレバナラヌ、即チ既往ニ於テ此定案ガナケレバナラヌノニ、
時勢ノ變遷デスナラヌコト云フ如キ、薄弱ナル理由デアハ、私共ハ此ノ案ニ向
テ賛成ヲ表スルコトガ出來ナイノデアアル、否理由ガ分ラヌノデアアリマス、故
ニ松方伯ハ此案ニ向テ十分ニ説明ヲ與フベキ義務アリト思ヒマス、故ニ今
日ノ財政ヲ救済シ若クハ國ノ經濟ノ基礎ヲ造ル上ニ就イテハ、松方伯ハ以前
カラノ經驗上、今日ニ於テ地租ヲ取ルヨリ外ニハ定案ガアルヤ否ヤト云フコ
トヲ承ハリタイ、松方伯ガ財政ヲ斯クナラシメタノハ何故デアアル、即チ其人
ノ責任デアアルト思ヘバ、是等ノ事ニ就イテハ十分吾々ヲ満足セシムル所ノ答
辯アラシム事ヲ、私ニ於テ望ムノデゴザイマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデヤ御質問ニ答ヘマスノハ、ドノ點ヲ御
答ヘシテ宜ウゴザイマス、要點ヲ御聽キ申シタイ

○高木正年君(百四十四番) 私ハ唯今申シマシタノハ御分リニナラヌト云
ハ、モウ一度申シマス、私ノ伺ッタルハ松方大藏大臣ハ、今日ノ經濟ノ根據ヲ
固ムル點ニ於テ、而シテ今日ノ財政上收入ヲ計ル點ニ於テ、此ノ増稅案即チ
地租増加ノ外ニハ、他ニ求ムベキ途ガナイト云フ、御意見デアアルカト云フコ
トヲ承ハリタイ

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデゴザイマス、ツレナラバ、財源ハ所謂
地租ヨリ外ニハ見込ハナイカト云フコトヲ、御尋ニナルノデアアリマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデゴザイマス、ツレナラバ、財源ハ所謂
地租ヨリ外ニハ見込ハナイカト云フコトヲ、御尋ニナルノデアアリマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデゴザイマス、ツレナラバ、財源ハ所謂
地租ヨリ外ニハ見込ハナイカト云フコトヲ、御尋ニナルノデアアリマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデゴザイマス、ツレナラバ、財源ハ所謂
地租ヨリ外ニハ見込ハナイカト云フコトヲ、御尋ニナルノデアアリマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデゴザイマス、ツレナラバ、財源ハ所謂
地租ヨリ外ニハ見込ハナイカト云フコトヲ、御尋ニナルノデアアリマス

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデゴザイマス、ツレナラバ、財源ハ所謂
地租ヨリ外ニハ見込ハナイカト云フコトヲ、御尋ニナルノデアアリマス

○高木正年君(百四十四番) 左様デス、ツレカラ先刻仰セガアッタ神ナラヌ
トカ、或ハ喰合ヒナルモノハ、即チ松方大藏大臣ガ以前ニ於テ、各省ガ思ヒ
思ヒ勝手次第ニ豫算ヲ作ッテ、ツレガ膨脹シテ今日ニナッタ來タノデ、其事
ハ松方大藏大臣ハ責任者デアアルト私ハ申シマシタ、是ニ就イテ御答辯ガアレ
バ承リタイ

○大藏大臣(伯爵松方正義君) ツレデヤ二箇條デゴザイマス
○西村淳藏君(六十二番) 至急ニ御相談ヲ...

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 第一ノ御尋ハ御答致シマス、此財源ニ於キマ
シテハ、種々ノ審査モ遂ゲマシタガ、今日日本大臣ガ見ル所ヲ以テ致シマス
ト、是ナラバ確カナ財源デ、是ナラバ決シテ無理デナイト云フ所ノ財源ト認
メマスルノハ、他ニハ是ヨリ目今ノ所ハナイト考ヘマシタ故ニ、此案ヲ提出
致シマシタ、ツレカラ第二ノ御質問ハ最前モ百二十五番ニ答ヘテ置キマシタ
通りニ、此財源ヲ幸ニ御協賛ヲ得マシタナラバ、今日ノ財政ノ行懸リデハ、基
礎ハ確カニ立チマス本大臣ハ認メマシタ、サリナガラ將來ニ天變地異其他
非常ナ事ノアリマシタトキニハ、是ハ私ガ保證スルコトハ出來セマスト、私
ハ申シマシタ

○高木正年君(百四十四番) 私ハ諄ク申シテ諸君ニ御氣ノ毒デアリマスガ、
大藏大臣ノ答ガ分ラヌカラ、已ムヲ得ズ申シマスガ、私ノ申シマシタノハ第
二ノ質問ノ方デ、松方大藏大臣ガ喰合豫算ヲ作ッテ、今日斯ノ如クナッタ
云フコトニ就イテ質問ヲ致シタ、若シ其財政ヲシテ斯クナラシメテ、増稅ヲ
シナケレバナラヌト云フコトデ、是ハ松方大藏大臣ガ既往ニ於ケル計畫ガ、
今日ニ及ンダノデアアル、ツレ故ニ私ハ斯ク思ヒマスルガ、ツレニ就イテ松方大
藏大臣ノ答辯ヲ望ムト申シマシタノデ、其ノ點ニ就イテハ御答ガ出來ナイ、
出來ナケレバ已ムヲ得マセヌガ、自分ノ意思ヲ明ニセンガタメニ茲ニ一言ヲ

○小山久之助君(九十三番) 大藏大臣デモ他ノ國務大臣デモ宜シウゴザイマ
スガ、簡單ナ質問デアアルカラ、極簡單ニ御説明ヲ煩シタイ、山縣總理大臣ノ
御演説ノ中ニ、現内閣ノ施政ノ方針ヲ説明スルコト云フ、大層ナ御聲懸リデゴ
ザイマシタガ、何ニモツレ程ノコトモナクシテ、前々内閣若クハ前内閣ノ通
リデアアルト云フデアアル、議會ガ數回解散サレ、内閣ガ數回瓦解シタニモ拘
ラズ、矢張り其通りデアアルト云フ、別段考ガナイト云フナラバ、吾々モ其考ヲ
持ッテ其事ニ當ラナケレバナラヌ、其事ヲシツカリト確メテ置キタイ、モウ一
ツ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ、二十九年ノ計畫ヲ立テ、以來、物價騰貴ノタメ
ニ、今日ハ三千何百圓上ツタ、神ナラヌ身ノ是カラ先キノコトハ知ラナイト云
フノデアアルガ、今日ノ財政ノ鞏固ト云フノハ、御見込デハ何時マデノ鞏固デ
アリマス、二十九年度後モウ三千何百圓増稅ヲシナケレバナラヌ、是カラ
先キノコトハ神ナラヌ身ノサツパリ分ラヌト云フノハ、財政ノ鞏固ト云フ
ノハ、何年マデノ財政ハ鞏固デアアルカ、今年限りノ財政ハ鞏固デアアルカ、或
ハ物價ガ下レバ此増稅ヲ減ズルト云フ御約束ノ出來ルモノデアアルカ、ツレカ
ラ物價騰貴シタト云フノハ、何時ノヲ標準トサレタカ、既ニ昨年以來六割以上
下落シタアル、ツレニモ拘ハラズ、物價騰貴ト云フノハ、何時ノ時ヲ以テ標準
ニサレタノデアアルカ、ツレカラ財政ハ鞏固ハ何時マデノ御見込デアアルカ、

○小山久之助君(九十三番) 大藏大臣デモ他ノ國務大臣デモ宜シウゴザイマ
スガ、簡單ナ質問デアアルカラ、極簡單ニ御説明ヲ煩シタイ、山縣總理大臣ノ
御演説ノ中ニ、現内閣ノ施政ノ方針ヲ説明スルコト云フ、大層ナ御聲懸リデゴ
ザイマシタガ、何ニモツレ程ノコトモナクシテ、前々内閣若クハ前内閣ノ通
リデアアルト云フデアアル、議會ガ數回解散サレ、内閣ガ數回瓦解シタニモ拘
ラズ、矢張り其通りデアアルト云フ、別段考ガナイト云フナラバ、吾々モ其考ヲ
持ッテ其事ニ當ラナケレバナラヌ、其事ヲシツカリト確メテ置キタイ、モウ一
ツ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ、二十九年ノ計畫ヲ立テ、以來、物價騰貴ノタメ
ニ、今日ハ三千何百圓上ツタ、神ナラヌ身ノ是カラ先キノコトハ知ラナイト云
フノデアアルガ、今日ノ財政ノ鞏固ト云フノハ、御見込デハ何時マデノ鞏固デ
アリマス、二十九年度後モウ三千何百圓増稅ヲシナケレバナラヌ、是カラ
先キノコトハ神ナラヌ身ノサツパリ分ラヌト云フノハ、財政ノ鞏固ト云フ
ノハ、何年マデノ財政ハ鞏固デアアルカ、今年限りノ財政ハ鞏固デアアルカ、或
ハ物價ガ下レバ此増稅ヲ減ズルト云フ御約束ノ出來ルモノデアアルカ、ツレカ
ラ物價騰貴シタト云フノハ、何時ノヲ標準トサレタカ、既ニ昨年以來六割以上
下落シタアル、ツレニモ拘ハラズ、物價騰貴ト云フノハ、何時ノ時ヲ以テ標準
ニサレタノデアアルカ、ツレカラ財政ハ鞏固ハ何時マデノ御見込デアアルカ、

○小山久之助君(九十三番) 大藏大臣デモ他ノ國務大臣デモ宜シウゴザイマ
スガ、簡單ナ質問デアアルカラ、極簡單ニ御説明ヲ煩シタイ、山縣總理大臣ノ
御演説ノ中ニ、現内閣ノ施政ノ方針ヲ説明スルコト云フ、大層ナ御聲懸リデゴ
ザイマシタガ、何ニモツレ程ノコトモナクシテ、前々内閣若クハ前内閣ノ通
リデアアルト云フデアアル、議會ガ數回解散サレ、内閣ガ數回瓦解シタニモ拘
ラズ、矢張り其通りデアアルト云フ、別段考ガナイト云フナラバ、吾々モ其考ヲ
持ッテ其事ニ當ラナケレバナラヌ、其事ヲシツカリト確メテ置キタイ、モウ一
ツ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ、二十九年ノ計畫ヲ立テ、以來、物價騰貴ノタメ
ニ、今日ハ三千何百圓上ツタ、神ナラヌ身ノ是カラ先キノコトハ知ラナイト云
フノデアアルガ、今日ノ財政ノ鞏固ト云フノハ、御見込デハ何時マデノ鞏固デ
アリマス、二十九年度後モウ三千何百圓増稅ヲシナケレバナラヌ、是カラ
先キノコトハ神ナラヌ身ノサツパリ分ラヌト云フノハ、財政ノ鞏固ト云フ
ノハ、何年マデノ財政ハ鞏固デアアルカ、今年限りノ財政ハ鞏固デアアルカ、或
ハ物價ガ下レバ此増稅ヲ減ズルト云フ御約束ノ出來ルモノデアアルカ、ツレカ
ラ物價騰貴シタト云フノハ、何時ノヲ標準トサレタカ、既ニ昨年以來六割以上
下落シタアル、ツレニモ拘ハラズ、物價騰貴ト云フノハ、何時ノ時ヲ以テ標準
ニサレタノデアアルカ、ツレカラ財政ハ鞏固ハ何時マデノ御見込デアアルカ、

○小山久之助君(九十三番) 大藏大臣デモ他ノ國務大臣デモ宜シウゴザイマ
スガ、簡單ナ質問デアアルカラ、極簡單ニ御説明ヲ煩シタイ、山縣總理大臣ノ
御演説ノ中ニ、現内閣ノ施政ノ方針ヲ説明スルコト云フ、大層ナ御聲懸リデゴ
ザイマシタガ、何ニモツレ程ノコトモナクシテ、前々内閣若クハ前内閣ノ通
リデアアルト云フデアアル、議會ガ數回解散サレ、内閣ガ數回瓦解シタニモ拘
ラズ、矢張り其通りデアアルト云フ、別段考ガナイト云フナラバ、吾々モ其考ヲ
持ッテ其事ニ當ラナケレバナラヌ、其事ヲシツカリト確メテ置キタイ、モウ一
ツ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ、二十九年ノ計畫ヲ立テ、以來、物價騰貴ノタメ
ニ、今日ハ三千何百圓上ツタ、神ナラヌ身ノ是カラ先キノコトハ知ラナイト云
フノデアアルガ、今日ノ財政ノ鞏固ト云フノハ、御見込デハ何時マデノ鞏固デ
アリマス、二十九年度後モウ三千何百圓増稅ヲシナケレバナラヌ、是カラ
先キノコトハ神ナラヌ身ノサツパリ分ラヌト云フノハ、財政ノ鞏固ト云フ
ノハ、何年マデノ財政ハ鞏固デアアルカ、今年限りノ財政ハ鞏固デアアルカ、或
ハ物價ガ下レバ此増稅ヲ減ズルト云フ御約束ノ出來ルモノデアアルカ、ツレカ
ラ物價騰貴シタト云フノハ、何時ノヲ標準トサレタカ、既ニ昨年以來六割以上
下落シタアル、ツレニモ拘ハラズ、物價騰貴ト云フノハ、何時ノ時ヲ以テ標準
ニサレタノデアアルカ、ツレカラ財政ハ鞏固ハ何時マデノ御見込デアアルカ、

○小山久之助君(九十三番) 大藏大臣デモ他ノ國務大臣デモ宜シウゴザイマ
スガ、簡單ナ質問デアアルカラ、極簡單ニ御説明ヲ煩シタイ、山縣總理大臣ノ
御演説ノ中ニ、現内閣ノ施政ノ方針ヲ説明スルコト云フ、大層ナ御聲懸リデゴ
ザイマシタガ、何ニモツレ程ノコトモナクシテ、前々内閣若クハ前内閣ノ通
リデアアルト云フデアアル、議會ガ數回解散サレ、内閣ガ數回瓦解シタニモ拘
ラズ、矢張り其通りデアアルト云フ、別段考ガナイト云フナラバ、吾々モ其考ヲ
持ッテ其事ニ當ラナケレバナラヌ、其事ヲシツカリト確メテ置キタイ、モウ一
ツ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ、二十九年ノ計畫ヲ立テ、以來、物價騰貴ノタメ
ニ、今日ハ三千何百圓上ツタ、神ナラヌ身ノ是カラ先キノコトハ知ラナイト云
フノデアアルガ、今日ノ財政ノ鞏固ト云フノハ、御見込デハ何時マデノ鞏固デ
アリマス、二十九年度後モウ三千何百圓増稅ヲシナケレバナラヌ、是カラ
先キノコトハ神ナラヌ身ノサツパリ分ラヌト云フノハ、財政ノ鞏固ト云フ
ノハ、何年マデノ財政ハ鞏固デアアルカ、今年限りノ財政ハ鞏固デアアルカ、或
ハ物價ガ下レバ此増稅ヲ減ズルト云フ御約束ノ出來ルモノデアアルカ、ツレカ
ラ物價騰貴シタト云フノハ、何時ノヲ標準トサレタカ、既ニ昨年以來六割以上
下落シタアル、ツレニモ拘ハラズ、物價騰貴ト云フノハ、何時ノ時ヲ以テ標準
ニサレタノデアアルカ、ツレカラ財政ハ鞏固ハ何時マデノ御見込デアアルカ、

○小山久之助君(九十三番) 大藏大臣デモ他ノ國務大臣デモ宜シウゴザイマ
スガ、簡單ナ質問デアアルカラ、極簡單ニ御説明ヲ煩シタイ、山縣總理大臣ノ
御演説ノ中ニ、現内閣ノ施政ノ方針ヲ説明スルコト云フ、大層ナ御聲懸リデゴ
ザイマシタガ、何ニモツレ程ノコトモナクシテ、前々内閣若クハ前内閣ノ通
リデアアルト云フデアアル、議會ガ數回解散サレ、内閣ガ數回瓦解シタニモ拘
ラズ、矢張り其通りデアアルト云フ、別段考ガナイト云フナラバ、吾々モ其考ヲ
持ッテ其事ニ當ラナケレバナラヌ、其事ヲシツカリト確メテ置キタイ、モウ一
ツ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ、二十九年ノ計畫ヲ立テ、以來、物價騰貴ノタメ
ニ、今日ハ三千何百圓上ツタ、神ナラヌ身ノ是カラ先キノコトハ知ラナイト云
フノデアアルガ、今日ノ財政ノ鞏固ト云フノハ、御見込デハ何時マデノ鞏固デ
アリマス、二十九年度後モウ三千何百圓増稅ヲシナケレバナラヌ、是カラ
先キノコトハ神ナラヌ身ノサツパリ分ラヌト云フノハ、財政ノ鞏固ト云フ
ノハ、何年マデノ財政ハ鞏固デアアルカ、今年限りノ財政ハ鞏固デアアルカ、或
ハ物價ガ下レバ此増稅ヲ減ズルト云フ御約束ノ出來ルモノデアアルカ、ツレカ
ラ物價騰貴シタト云フノハ、何時ノヲ標準トサレタカ、既ニ昨年以來六割以上
下落シタアル、ツレニモ拘ハラズ、物價騰貴ト云フノハ、何時ノ時ヲ以テ標準
ニサレタノデアアルカ、ツレカラ財政ハ鞏固ハ何時マデノ御見込デアアルカ、

○小山久之助君(九十三番) 大藏大臣デモ他ノ國務大臣デモ宜シウゴザイマ
スガ、簡單ナ質問デアアルカラ、極簡單ニ御説明ヲ煩シタイ、山縣總理大臣ノ
御演説ノ中ニ、現内閣ノ施政ノ方針ヲ説明スルコト云フ、大層ナ御聲懸リデゴ
ザイマシタガ、何ニモツレ程ノコトモナクシテ、前々内閣若クハ前内閣ノ通
リデアアルト云フデアアル、議會ガ數回解散サレ、内閣ガ數回瓦解シタニモ拘
ラズ、矢張り其通りデアアルト云フ、別段考ガナイト云フナラバ、吾々モ其考ヲ
持ッテ其事ニ當ラナケレバナラヌ、其事ヲシツカリト確メテ置キタイ、モウ一
ツ大藏大臣ノ説明ノ中ニモ、二十九年ノ計畫ヲ立テ、以來、物價騰貴ノタメ
ニ、今日ハ三千何百圓上ツタ、神ナラヌ身ノ是カラ先キノコトハ知ラナイト云
フノデアアルガ、今日ノ財政ノ鞏固ト云フノハ、御見込デハ何時マデノ鞏固デ
アリマス、二十九年度後モウ三千何百圓増稅ヲシナケレバナラヌ、是カラ
先キノコトハ神ナラヌ身ノサツパリ分ラヌト云フノハ、財政ノ鞏固ト云フ
ノハ、何年マデノ財政ハ鞏固デアアルカ、今年限りノ財政ハ鞏固デアアルカ、或
ハ物價ガ下レバ此増稅ヲ減ズルト云フ御約束ノ出來ルモノデアアルカ、ツレカ
ラ物價騰貴シタト云フノハ、何時ノヲ標準トサレタカ、既ニ昨年以來六割以上
下落シタアル、ツレニモ拘ハラズ、物價騰貴ト云フノハ、何時ノ時ヲ以テ標準
ニサレタノデアアルカ、ツレカラ財政ハ鞏固ハ何時マデノ御見込デアアルカ、

明日ハ知ラナイ、成ル程神デナイカラ明日ハ知レマイ、今日ダケノ財政ノ鞏固ト云フコトデアルカ、此三箇條何誰デモ宜シイ、御答辯ヲ……

○内閣總理大臣(侯爵山縣有朋君) 施政ノ方針ハ唯今概要申シタ通りデアリマス

○千田軍之助君(百五十八番) 私ハ少シ出席ガ遅ウゴザリマシタノデ、松方大藏大臣ノ御演説ノ全體ヲ承知シマセヌダツタガ、併シ地價修正ニ此地租増加ノコトガ出テ居リマス、又其事ニ就イテノ御演説ガアツタヤウニ傳聞シマシタカラ、少シ御尋ヲ致シタイ、我國ノ此所得稅法ナドヲ見マスルト云フト、即チ三百圓所得ノアル者ハ、千分ノ十トアツテ、即チ百分ノ一デアアル、一箇年ノ所得ニ對シテ百分ノ一ヲ課シテ居ル、ソレカラ千圓位ノモノデアレバ千分ノ十五デ、分リ易ク言ヘバ百分ノ一半デアアル、然ルニ此田畑即チ地租ニ對シテハ、地價ノ百分ノ二半ヲ、從前カラ取ツテ居ルデアアル、此地價ト云フモノハ、政府ハドウ云フモノト見テ居ルカ、是ハ資本デアラウト思フ、又確ニ地租條例ノ最初ノトキニハ政府カラ積ツタ地價ガ不服ナラバ、政府ニ買上ゲルト云フコトデアツタ、然ラバ地價ハ即チ資本デアアル、一方ハ所得ノ千分ノ十若クハ千分ノ十五、分リ易ク言ヘバ所得ノ百分ノ一若クハ百分ノ十五デ、片方ハ百分ノ二半、驚イタ偏重偏輕デハナイカ、然ルニ今同出シタ百分ノ四トアリマスガ、政府ハ農家ノ資本ナリ收益ニ對シテハ、幾分ノ利益ニナルト云フ御見込デアアルカ、ソレカラ第二ニ此今日地租増加ヲシナケレバ、財政ノ途ガ立たヌト云フコトヲ頻リニ言フモノガアルガ、是ハ如何ナル部分デ言フテ居ルカト云ヘバ、内閣ノ或ル部分ト、貴族ノ或ル部分ト、實業家ノ或ル部分ト、言フテ居ルガ、ソレ等ノ人ガドウ位ノ家屋ニ住ンデ、ドウ位ノ資本ヲ持ツテ國家ニ、ドウ位ノ納稅ノ義務ヲ盡シテ居ルカ、私ノ見ル所デハ、今日ノ地租増加論者ハ、僅ニ所得ノ千分ノ十トカ十五トカ見テ居ルガ、大藏大臣ガ是等ニ就イテハ、ドウ云フ觀察ヲ爲シテ居ルカ、即チ承リタイ、即チ地價ノ百分ノ四ヲ取ルト云フコトハ、事實ニ於テ農家ノ負擔ガドウ位ニナルカ、即チ收益ノ幾割ヲ取ルト云フコトハ、且ツ地租増加ヲ主張スル者ハ、内閣ノ或ル部分ト、貴族ノ或ル部分ト、實業家ノ或ル部分ト、而シテ其部分ノ種族ガドウ位ノ資本ヲ持ツテドウ位ノ國家ニ對シテ義務ヲ負フテ居ルカ、私ハ今日百分ノ二半デ偏重偏輕デアルト事實ノ上ニ認メテ居ルガ、大藏大臣ニ於テハ如何御認メニナツテ居ルカ、是ハ財政ノ基礎々々ト云フガ、經濟ノ發達ヲ害スル財政ノ基礎ナラ駄目デアアル、我國ハ四五年タテバ、日清戰爭ニ倍スル大戰爭ヲヤラナケレバナラナイ、然ルニ一方ニ軍備ヲ擴張スルト同時ニ、片ッ方ニ經濟ノ基礎ヲ害シナイ基礎ヲ立ナケレバナラナイ、均シク日本國民デアリナガラ、或ハ内閣大臣貴族實業家杯ハ、非常ノ輕稅デアアル、一方ニハ甚ダ苦シデ居ルモノガアル

○議長(片岡健吉君) 千田君、議論ニ涉ラヌヤウニ……

○千田軍之助君(百五十八番) 斯ノ如キ事實ニナツテ居ル、ソレヲ大藏大臣ガ此事實ヲ御認メニナツテ地租増加案ヲ主張致サレマスガ、如何デアアルカト云フコトヲ御尋致シマス(止メロ止メロ)ト呼フ者アリ、「ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ)斯ノ如キ日本社會ノ事實ハ、偏重偏輕デアアルノデアアルガ……

○議長(片岡健吉君) 議論ニ涉ルヤウデスカラ發言ヲ止メマス

○千田軍之助君(百五十八番) 大藏大臣ハ如何ニ御認メニナリマスカ

○議長(片岡健吉君) 發言ヲ止メタラ許ヲ經ナケレバイケマセヌ

(大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 唯今ノ御質問ハ何レ其本案ガ出マシタ時、又御答ヲ申上ゲマス

○千田軍之助君(百五十八番) 是ハ大體ニ關スル答辯ヲ御尋シタガ、左様ナラ本案ガ出サレタ時承リマセウ

○門馬尙經君(百六十九番) 私ハ總理大臣カ大藏大臣ノ中ニ質問シタイコトガアル、ドウカチヨツト御留メ下サイ、サウスルト其他ノ大臣デモ宜イカラ、極肝要ナコトヲ御尋シタイ、其事柄ト云フモノハ、此地租増加案ヲ此度政府カラ提出サレマシタケレドモ、吾々同志者タル憲政本黨ノ議員ガ、地租増加案ニハ絶對的反對デアアルト云フコトハ、苟モ内閣ニ立ツテ居ル大臣ハ、篤ト御承知デアラウ(笑聲起ル)然ルニ憲政黨トノ交渉ハ如何デアアルカト云フニ(無用々々)ト呼フ者アリ)聞ク所ニ據レバ……

○議長(片岡健吉君) 質問ナラ質問ノ要領ヲ御述ベナサイ

○門馬尙經君(百六十九番) 地租増加案ヲ提出サレヌヤウニト云フヤウナ交渉ニナツタト云フ(簡單々々)ト呼フ者アリ)然ルニモ拘ハラズ、此案ヲ出サレタノハ吾々代議士、否ナ、國民ノ輿論ト云フモノヲ内閣ハ何ト思ウテ居ルカ(無用々々)ト呼フ者アリ、恆松隆慶君討論終結)ト呼フ)諸リ專制政體ト同シデアアル、國民ノ輿論ヲ重ンズルナラバ、百五十人近クノ憲政本黨ノ代議士ノ意見ヲ容レ、竝ニ憲政黨多數ノ意見ヲ容レテ……

○議長(片岡健吉君) 門馬君、質問ノ要領ヲ……

○門馬尙經君(百六十九番) 現内閣ノ大臣等ハ實ニ專制政治ヲシテ……

○議長(片岡健吉君) 門馬君、許シマセヌ

○門馬尙經君(百六十九番) 專制政治ヲ知ツテ輿論政治ヲ知ラナイヤリ方デアアル、吾々國民ヲ何ト心得テ居ラレルカ

○議長(片岡健吉君) 演説ヲ許シマセヌ

○栗原亮一君(八十七番) 是カラ豫算委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、其委員ハ退席シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(片岡健吉君) 今豫算委員長カラ、是ヨリ豫算委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」異議ナシ)ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、豫算委員長ヨリ申シタ通許スコトニ致シマセウ

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(百二十五番) 諸君、私ハ此議會ニ對シテ質問書ヲ提出致シマシタカラ、聊其質問ノ趣意ヲ辯明シタイ積デ登壇致シマシタカラ、暫時御清聴ヲ煩シタイト思ヒマス、其質問ト云フノハ外デハゴザリマセヌ、去ヌル二十八年ニ於キマシテ、本議會カラ此支那政府ヨリ得タ所ノ償金ニ對シテ、此十分ノ一ヲ全國ノ普通小學ノ基本金トシテ交付相成リタイト云フコトヲ建議致シタノデゴザリマス、然ルニ聞ク所ニ據レバ貴族院ニ於テモ、此事ハ建議致即チ議會ヲ通過シテ建議ニナツテ居ル、爾來數年間ニ涉ルト雖モ、未ダ政府ハ

何等ノ處置ヲ爲サヌデゴザリマス、是ハ抑、政府ハ兩院ノ建議ヲ理由ガナ
イトシテ、之ヲ排撃スル意見デアアルノデゴザリマス、或ハ又理由アリトシテ
モ、此事ヲ因循姑息ニ處分シナイデ居ルノデゴザリマセウカ、抑、何等ノコ
トヲ示サズシテウツチヤツテ置クト云フコトハ、吾々甚ダ解スルコトガ出來ナ
イノデゴザリマス、故ニ此建議ニ對シテ政府ノ意向ヲ確メタイノデゴザリマ
ス、若シ政府ニ於テ此建議案ヲ可トセラレカドウカ、本議會ニ對シテ處分案
ヲ示サレンコトヲ希望スルノデゴザリマス、果シテ之ヲ全國ノ普通小學ノ基
金トシテ下ゲルト云フ譯ナラバ、此資金ノ中幾分ヲ分ケルト云フコトヲ本議
會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌノデゴザリマス、故ニ政府ガ採用スル場合ニハ、
本議會ニ對シテ此處分案ヲ提出セラレンコトヲ希望スルコトヲ大體ノ趣意デ
アル、然ルニ此資金ノ幾分ヲ普通小學ノ基金ニシタイト云フコトハ、其當時
ノ建議書ニ詳シク書イテアリマスルカラ、今更私ガ喋々スルヲ俟タナイノデ
ゴザリマス、ケレドモ隨分年久シクナツテ居ルコトヲデゴザリマス、又議會
モ解散ニナツテ新ニ選出サレタ御方モゴザリマス、一應私ハ此大體ニ就イ
テ、是ハ全國ノ基金ニヤラナクチャナラヌト云フ理由ヲ御話ヲ致シタイト思
フノデゴザリマス、抑、此資金ナルモノハドウ云フ事ニ使フモノデアアルカ、此
性質上カラ言フト、第一ニハ此ドウシテモ軍ノタメニ我國ノ損害ニナツタモ
ノヲ償フト云フガ當然ナコトデアリマセウ、然レドモ又一方ニ於テハ、或ハ
公共ノ事業或ハ萬國ト共同ノ事業ニ使フテ國運ヲ進メルト云フコトガ當然ナ
コトデアラウト思ヒマス、故ニ此全國ノ普通小學ノ基金トシテ、我日本ノ普
通小學ノ進歩ヲ圖リ我國民ノ知識ヲ進メルト云フコトニ此金ノ幾分ヲ使フト
云フコトハ、當然ナコトデアアル、故ニ此當時ノ議會ニ於テモ、大多數ヲ以テ
通過シタノデゴザリマス、諸君、顧ルト此資金三億幾萬圓ト云フモノヲ取リ
マシテ、日本政府ハドウ云フ事ニ使フデアアルカト云フコトヲ顧ルト云フト、唯
軍備ノ擴張、是モ軍備ノ要用ナルモノハ、擴張シナケレバナラヌト云フコト
ハ、當然デモゴザリマセウケレドモ、此軍ノタメニハ、人民カラ多クナル公
債ヲ募リテ支辨シタノデアアル、然ルニ此軍ノタメニハ、費シタ所ノ公債ニハ、一
モ償却ヲシナイノデアアル、故ニツレガタメニ、民間ノ經濟ニ多少ノ困難ヲ來
シタト云フコトハ、諸君モ皆御分リデアラウト思ハレノデゴザリマス、此
軍ノタメニ內國ニ金融ノ逼迫ヲ來シタノモノ拘ラズ、之ヲ還サヌト云フノハ、
已ムヲ得ナイコトデアハゴザリマセウケレドモ、責テハ此小學ノ基金ト云フモ
ノヲ交付シテ、一般ニ日本ノ學生ヲ獎メルト云フコトハ、洵ニ當然ノコトデ
アルノデゴザリマス、然ルニ是等ノコトヲ爾來政府ハ數年間ヲ經テモ、ウツチ
ヤツテ置イテ、此金ハイヅレニ使フカト云フト、前申シタ軍事ノ外ニ毎年此一
般ノ會計ニ繰越シテモ、當年モ五百萬、來年モ五百萬圓ト云ウテ、之ヲ使ヒ
盡シテシマウト云フコトハ、如何ニモ奇々怪々ナルコトデアハゴザリマセウカ、
既ニ一昨日ヤラモ、既ニ此皇室ヘノ納付金ト云フコトヲ議決セラレタコト
デゴザリマスガ、是ハ此議會ニ決議ニナツタ以上ハ、政府ニ於テモ決定テ之ニ
對シテ案ヲ具ヘテ、此議會ニ提出セラレコトハ、私ガ今カラ必ズサウナル
ダラウト思ウテ居ルノデゴザリマス、然ラバ同ジク此皇室ト學校トハ違ヒガ
ゴザリマスケレドモ、固ヨリ皇室ノコトニ對シテハ、滿場一致ヲ以テ、大多數
ヲ以テヤツタト云フコトデアハゴザリマス、無論此事ハ政府モ採用セラレ
デアラウト思ヒマスガ、一方ノ學校ノコトニ就キマシテハ、更ニ何等ノ音信

ノナイノハ、如何ニモ奇怪ノコトデアアルト思ヒマス、故ニ私ハ此場合ニ於テ、
此質問書ヲ提出シテ、政府ニ於テ速ニ此資金ノ幾部分、即チ前ノ決議ニ依リ
マス十分ノ一、若シ十分一ハ目下ノ財政上ノ急デ許サヌト云フナラバ、縱
令此内幾ラカ減少シテモ、是非幾ラカ此學校ノタメニ、供ヘナクチャナラヌト
云フコトヲ深ク信ジテ居ルモノデアハゴザリマス、政府ニ於テ此際ニ是非相
當ノ御詮議ニナツテ、早ク此議會ニ此處分案ヲ提出セラレンコトヲ希望スル
ノデゴザリマス、是ハ是マデモ、例モゴザリマス、外ノ當議會カラ建議シタコ
トニ就イテ、補助金ナドノコトニ就イテハ、悉ク政府ハ採用シテ居ル、或ハ
此傳染病ノ豫防ニ對スル補助金、或ハ北海道千島ノ移住民ノ補助金、或ハ帝
國體育會ノ補助金ト云フヤウナ、皆此議會ヲ通過シタルモノデ、政府ハ速ニ
之ヲ採用セラレテ、即チ豫算ニ組ンデ、此金ヲ下付セラレテアルノデゴザリ
マス、獨リ此小學校ノ基金ニ於テ、ウツチヤツテ置クト云フノハ、如何ニモ解
スベカラザルコトデアハゴザリマス、曩ニモ總理大臣ノ云ハレル通、學校ノ隆盛
ヲ計ラナケレバナラヌト云フコトハ、總理大臣モ云ハレル、又此前ノ政府ト
雖モ、皆各政府トモ學事ノ進歩ヲセシメナケレバナラヌト云フコトヲ、口ニ
ハ言ハレナガラ、其最モ重ナル所ノ普通教育ヲ一向ウツチヤツテ置クト云
フコトハ、眞ニ自家撞著ノコトデアラウト思フノデゴザリマス、尤モ此金ノ
使ヒ方ニ就キマシテハ、今此資金ト云フモノハ、敢テ是ハ現金デアアルノデゴ
ザリマセウカ、其基金ニ供ヘル方法ニ至ツテハ、本員ハ決シテ斯クシナケ
レバナラヌ、今正金デナクチャナラヌト云フコトヲ云フノデヤナイ、或ハ公
債ナリ、或ハ支那ノ公債ナリ、或ハ農工銀行ノ債券ナリ、皆有價證券ニナ
テ居ルコトデアハゴザリマス、此有價證券中ノ幾部分カラ割イテ、即チ文
部省ニ交付シテ、之ヲ普通教育ノ基本金トシテ備ヘテ置キタイト云フノデ、
然シテ之ヲ配付ノ方法杯ニ至ツテハ、文部大臣ハソレダケノ考案ヲ拵ヘテ、
又出セバ宜イノデゴザリマス、免ニモ角ニモ此際ニ於テ、一千万圓以上
三千万圓以下ノ金ヲ此普通小學ノ基本金トシテ、早ク下付セラレコトニ致
シタイト思ヒマス、此說明ヲ致シテ置クノデゴザリマス、
○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程ノ第一所得稅法改正法律案ノ第一讀會
ヲ開キマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員目賀田種太郎君

第一 所得稅法改正法律案(政府提出) 第一讀會

第一條 帝國內此ノ法律施行地ニ住所ヲ有シ又ハ一箇年以上居所ヲ有スル
者ハ此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第二條 前條ニ該當セサル者此ノ法律施行地ニ資產營業又ハ職業ヲ有スル
トキハ其ノ所得ノ付テノミ所得稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第三條 所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

第一種 法人ノ所得 千分ノ二十五

第二種 此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ爲ス公 千分ノ二十

第三種 債社債ノ利子 千分ノ二十

第四種 前各種ニ屬セサル所得 千分ノ五十五

十萬圓以上

五萬圓以上 千分ノ五十五
三萬圓以上 千分ノ四十五
二萬圓以上 千分ノ三十五
一萬圓以上 千分ノ二十五
五千圓以上 千分ノ二十
二千圓以上 千分ノ十五
一千圓以上 千分ノ十
五百圓以上 千分ノ五
三百圓以上 千分ノ二

戶主及其同居家族ノ所得ハ第三種ノ限リ之ヲ合算シ其ノ總額ニ依リ本條ノ稅率ヲ定ム戶主ト別居スル家族二人以上同居スルトキ亦同シ
第四條 所得ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ算定ス
一 第一種ノ所得ハ各事業年度總益金ヨリ同年度總損金ヲ控除シタルモ
ニ 依ル但シ第二種ノ所得ハ各事業年度總益金ヨリ同年度總損金ヲ控除シタルモ
三 第二種ノ所得ハ其ノ支拂ヲ受クヘキ金額ニ依ル
三 第三種ノ所得ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル豫算年額ニ
依ル但シ公債社債ノ利子、營業ニ非ル貸金ノ利子、配當金、俸給、給
料、手當金、賞與金、歲費、年金、恩給金ハ其ノ收入額ノ豫算年額ニ依
ル

第五條 左ニ掲グル所得ニハ所得稅ヲ課セス
一 軍人從軍中ニ係ル俸給
二 扶助料及傷痍疾病者ノ恩給
三 旅費學資金及法定扶養料
四 營利ヲ目的トセサル法人ノ所得
五 營利ノ事業ニ關セサル一時ノ所得
六 外國又ハ此ノ法律ヲ施行セサル地ニ於ケル資產營業又ハ職業ニ依ル
所得但シ此ノ法律施行地ニ本店ヲ有スル法人ヨリ所得ヲ除ク
七 此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ課セラルタル法人ヨリ所得稅ヲ課セス但シ第三
條第二項ノ場合ニ於テ其ノ合算額三百圓ニ滿タサルトキハ所得稅ヲ課ス
第七條 納稅義務アル法人ハ各事業年度毎ニ損益計算書ヲ政府ニ提出スヘ
シ但シ第二條ニ該當スル法人ハ各事業年度毎ニ此ノ法律施行地ニ於ケル
資產又ハ營業ニ關スル損益計算書ヲ其ノ計算書ヲ政府ニ提出スヘシ
第八條 第三種ノ所得ニ付納稅義務アル者ハ毎年四月中ニ所得ノ種類及金
額ヲ詳記シ政府ニ申告スヘシ
第九條 第一種ノ所得金額ハ損益計算書ヲ調查シ政府之ヲ決定シ第三種ノ
所得金額ハ所得調查委員會ノ調查ニ依リ政府之ヲ決定ス
第十條 稅務署長ハ毎年第三種ノ所得ニ付納稅義務アリト認ムル者ノ所得
金額ヲ調查シ其ノ調查書ヲ製シテ之ヲ所得調查委員會ニ送付スヘシ
第十一條 各稅務署所轄内ニ所得調查委員會ヲ置ク
第十二條 調查委員ハ調查委員選舉人ノ選舉ス

第十三條 調查委員ノ選舉區域ハ稅務署ノ管轄區域ニ依ル
第十四條 調查委員選舉人ノ選舉區域ハ市町村ノ區域ニ依リ東京市京都市大阪市札
幌區函館區ニ在テハ區ノ區域ニ依ル
第十五條 選舉區域内ニ住居シ第八條ノ申告ヲ爲シタル者ハ調查委員選舉
人ヲ選舉シ又ハ調查委員若ハ調查委員選舉人ニ選舉セララルコトヲ得但
シ左ニ記載スル者ハ調查委員トナルコトヲ得ス
一 無能力者
二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破産ノ
宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ルマデ
ノ者
三 國稅滯納處分ヲ受ケタル後一箇年ヲ經サル者
四 剽奪公權者及停止公權者
五 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ルマ
デノ者
第六條 第四十六條ニ依リ處罰セラレタル後五箇年ヲ經サル者
第十五條 調查委員選舉人ノ定數ハ其ノ選舉區域内ニ於ケル第八條ノ申告
ヲ爲シタル者十八人ニ付一人トス但シ申告者二百人以上ナルトキハ二十人
ニ止メ申告者十人未滿ナルトキハ一人トス
第十六條 調查委員選舉人ノ選舉事務ハ市區町村長又ハ戶長之ヲ執行シ調
査委員ノ選舉事務ハ稅務署長之ヲ執行ス
第十七條 稅務署長ハ調查委員選舉人ノ選舉期日ヲ定メ之ヲ市區町村長又
ハ戶長ニ通知スヘシ
第十八條 市區町村長又ハ戶長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ少クモ選舉期日七
日前其ノ旨ヲ公示スヘシ
第十九條 選舉ハ記名投票ヲ以テ之ヲ行フ
第二十條 選舉ハ投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數同シキト
キハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
第二十一條 調查委員選舉人ノ選舉終了シタルトキハ市區町村長又ハ戶長ハ
當選人ノ氏名ヲ公示スヘシ
第二十二條 調查委員選舉人ノ選舉ヲ行フトキハ稅務署長ハ選舉期日ヲ定メ少ク
トモ七日前ニ公示スヘシ
第二十三條 調查委員ノ選舉ハ第十八條及第十九條ノ規定ヲ準用ス
第二十四條 調查委員ノ選舉ニ關シテハ第十八條及第十九條ノ規定ヲ準用ス
第二十五條 調查委員ノ選舉ニ關シテハ第十八條及第十九條ノ規定ヲ準用ス
第二十六條 調查委員ハ稅務署長ノ通知ニ依リ之ヲ開ク
第二十七條 調查委員會ハ毎年開會ノ始ニ於テ調查委員中ヨリ會長ヲ選舉
スヘシ
第二十八條 調查委員會ハ定員ノ過半數ニ當ル委員出席スルニアラサレハ
決議スルコトヲ得ス
第二十九條 調查委員會ハ多數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所
ニ依ル

第二十九條 調查委員ハ自己ノ所得金ニ關スル議事ニ與ルコトヲ得ス
第三十條 八月三十一日マテニ調査委員會成立セサルカ又ハ調査終了セサルトキハ所得金額調査未済ノ者ニ付テハ政府ニ於テ其ノ所得金額ヲ決定ス

第三十一條 政府ハ調査委員會ノ決議ヲ不當ト認ムルトキハ之ヲ再調査ニ付ス仍其ノ決議ヲ不當ト認ムルトキ又ハ再調査ニ付シタル日ヨリ十五日以内ニ調査終了セサルトキハ政府ニ於テ所得金額ヲ決定ス
第三十二條 稅務署長又ハ其ノ代理官ハ調査委員會ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十三條 調查委員ニハ手當及旅費ヲ支給ス
第三十四條 稅務署長又ハ其ノ代理官ハ調査上必要アルトキハ納稅義務アリト認ムル者ニ對シ其ノ所得ニ關スル事實ヲ質問スルコトヲ得
第三十五條 政府ハ第一種及第三種ノ所得金額ヲ決定シタルトキハ之ヲ納稅義務者ニ通知スヘシ

第三十六條 納稅義務者政府ノ通知シタル所得金額ニ對シテ異議アルトキハ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ不服ノ事由ヲ具シ政府ニ申出テ審査ヲ求ムルコトヲ得
第三十七條 前條ノ請求アリタルトキハ審査委員會ヲ開キ其ノ決議ニ依リ政府之ヲ決定ス

第三十八條 審査委員會ハ收稅官吏四人調査委員三人ヲ以テ之ヲ組織ス
第三十九條 納稅義務者ハ前條ノ審査ヲ求メタル場合ト雖通知ヲ受ケタル所得金額ニ依リ稅金ヲ納ムヘシ
第三十九條 所得金額ノ決定ニ對シ不服アル者ハ訴願又ハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第四十條 第三種ノ所得ニ付納稅義務アル者所得金額四分ノ一以上ヲ減損シタルトキハ政府ニ申出テ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得但シ翌年一月三十一日ヲ過クルトキハ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得ス
第四十一條 前條ノ請求アリタルトキハ政府ハ其ノ所得金額ヲ査覈シ決定額ニ對シ四分ノ一以上ノ減損アリタルトキハ其ノ所得金額ヲ更訂ス

第四十二條 第一種ノ所得ニ付テハ各事業年度毎ニ所得稅ヲ徵收ス
第四十二條 第二種ノ所得ニ付テハ其ノ金額支拂ノ際支拂者其ノ所得稅ヲ徵收シ其ノ都度之ヲ政府ニ納ムヘシ
第四十三條 第三種ノ所得ニ付テハ年額ヲ二分シ其ノ年九月及翌年三月之ヲ徵收ス但シ納稅者納稅管理人ヲ定メシテ帝國外ニ住所若ハ居所ヲ移ストキハ其ノ際直ニ其ノ所得稅ヲ徵收スルコトヲ得

第四十三條 第四十條ノ請求アリタルトキハ政府ハ其ノ確定ニ至ルマテ稅金ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得
第四十四條 第三種ノ所得ニ係ル所得稅ハ本人住所ノ地ヲ以テ納稅地トシ住所ナキトキハ居所ノ地ヲ以テ納稅地トス但シ納稅者ハ申告シテ住所又ハ居所以外ノ地ニ於テ所得稅ヲ納ムルコトヲ得此ノ法律施行地ニ住所又ハ居所ナキ者ハ納稅地ヲ定メ政府ニ申告スヘシ申告ナキトキハ政府其ノ納稅地ヲ指定ス

第四十五條 納稅義務者納稅地ニ現住セサルトキハ其ノ所得稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ納稅管理人ヲ定メ政府ニ申告スヘシ
第四十六條 所得金額ヲ隱蔽シテ逋稅シタル者ハ其ノ逋稅金高三倍ノ罰金

ニ處ス但自首スル者ハ其ノ稅金ヲ追徵シ其ノ罪ヲ問ハス
第四十七條 所得ノ調査又ハ審査ニ干與スル者其ノ調査又ハ審査ニ關スル事項ヲ他ニ漏洩シタルトキハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ニ依リ處罰セラレタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第四十八條 附則
此ノ法律ハ明治三十二年一月一日ヨリ施行ス
第四十九條 明治二十年勅令第五號所得稅法ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス
明治三十二年三月ニ於テ納付スヘキ所得稅ニ關シテハ仍明治二十年勅令第五號所得稅法ヲ適用ス

第五十條 此ノ法律ハ沖繩縣小笠原島及伊豆七島ニ當分ニ之ヲ施行セス
第五十條 (政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)
○政府委員目賀田種太郎君 現行ノ所得稅法ハ、數年前ノ制定ニ係リマシテ、今日ニ於テハ整理ヲ要スル廉價鮮カラヌ譯デアリマス、又今日ハ一方ニ於テハ、適度ナル程度ニ於テ歲入ヲ増スガタメニ、此稅率ヲ改正スルコトヲ要シマスルガ故ニ、本案ヲ提出シタ譯デアリマス、本案ハ所得ノ種類ヲ三種ニ分チマシテ、之ヲ十二段ニ分テゴザイマス、其八段以下ニ於テ、現行稅率トハ、多少適度ノ方法ニ於テ、稅率ヲ進メマシテ、歲入ノ増加ヲ見込シタ譯デアリマス、此方案ノ結果ニ依ッテ、増シマスル所ノ増額ハ、百四十九萬四千圓餘ニナリマス、茲ニ各位ノ協賛ヲ完ウセラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 格別質問ガゴザイマセヌカラ、議事日程ノ第二特別委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○恆松隆慶君(九十七番) 議長指名ノ九名ノ委員
(贊成々々ト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名致シマシテ、御異議ハゴザイマセヌカ
(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、次ニ議事日程ノ第三酒造稅法中改正法律案第一讀會議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員目賀田種太郎君

第三 酒造稅法中改正法律案(政府提出)
第一讀會
酒造稅法中改正法律案
明治二十九年法律第二十八號酒造稅法中左ノ通改正ス

第四條 酒類ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數ニ應シ左ノ割合ニ從ヒ造石稅ヲ課ス
第一種 清酒濁酒 一石 金十二圓
白酒味淋 一石 金十三圓

第二種 燒酎、酒精 一石 金十三圓
攝氏溫度器十五度ノトキニ於テ原容量百分中酒精ノ容量第一種ニ在テハ二十第二種ニ在テハ五十ヲ超過スルトキハ百分ノ一ヲ増ス每二前項ノ金額ニ一圓ヲ加フ
第五條 政府ハ一酒造年度間清酒ハ百石濁酒ハ五十石燒酎、酒精ハ五石以

上ヲ製造スル者ニ非サレハ酒類製造ノ免許ヲ與ヘス但シ清酒又ハ濁酒制限石數以上ヲ製造スル者ニハ他ノ酒類ニ關スル制限ヲ適用セス

酒類製造ノ免許ヲ受ケタル者本條ノ制限石數以上ノ製造ヲ爲サザリシトキハ變災其ノ他已ム得サル事故ニ因ルコトヲ證明スルニ非サレハ制限石數ニ相當スル造石稅ヲ課ス但シ其ノ製造セザリシ石數ニ對シテハ其ノ

年五月一日ヨリ九月三十日マテニ査定シタルモノト看做シ第四條第一項

ノ稅率ニ依リ其ノ造石稅ヲ徵收ス

第六條 造石稅ノ納期ヲ分テ左ノ四期トス
第一期 七月十六日ヨリ同三十一日限
第二期 十月十六日ヨリ同三十一日限
第三期 翌年二月十六日ヨリ同二十八日限
同上及其ノ年五月一日ヨリ九月三十日マテ査定石數ニ係ル稅額四分ノ一

第四期 翌年三月十六日ヨリ同三十一日限

第七條 中「通稅ヲ謀ル」所爲アリト認ムルトキ「ノ下ニ」若ハ納稅保證物ノ免除ヲ得シテ保證物ノ提供ヲ爲ササルトキ「ヲ加フ」

第十二條 左ノ酒類ハ其ノ造石稅ヲ免除スルコトヲ得但シ製造場外ニ移出シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
一 災害ニ罹リ酒類ノ廢棄ニ屬シタルモノ
二 腐敗シタル酒類ニシテ政府ノ承認ヲ得酒類トシテ飲用スヘカラサル處置ヲ施シタルモノ
三 腐敗シタル酒類又ハ災害ニ罹リ飲用スヘカラサルニ至リタル酒類ニシテ第二種ノ酒類ノ製造ニ供スルモノ
四 容器ノ損傷若ハ塞栓ノ自然ノ脫去ニ依リ酒類ノ亡失シタルモノ

第十三條 酒類ヲ製造スル者ハ納稅保證トシテ一酒造年度見込造石數一石ニ付金四圓ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ニ相當スル保證物ヲ豫メ提供スヘシ但シ政府ノ許可ヲ受ケ造石數査定ノ都度本條ノ割合ヲ以テ保證物ヲ提供スルコトヲ得
每酒造年度ノ見込造石數又ハ査定石數前項ノ見込造石數ヨリ十石以上増加シタルトキハ其ノ石數ニ應シ前項ノ割合ニ依リ保證物ヲ増補スヘシ
每酒造年度ノ見込造石數又ハ査定石數第一項ノ見込造石數ヨリ十石以上減少シタルトキハ其ノ石數ニ應シ第一項ノ割合ニ依リ保證物ノ減少ヲ請フコトヲ得

酒類ヲ製造スル者此ノ法律ヲ犯シテ處罰セラレタルトキ又ハ造石稅ニ關シテ滞納處分ヲ受ケタルトキハ爾後三年間政府ハ造石稅全額マテノ保證物提供ヲ命スルコトヲ得
前三項ノ場合及保證物ノ價格ニ異動ヲ生シタル場合ヲ除クノ外保證物ノ増減ヲ爲サス
第十四條 左ノ一號ヲ加フ
四 酒類ヲ製造スル者ノ屬スル酒造組合ニ於テ納稅ヲ擔保シタルトキ
第十五條 酒類ヲ製造スル者造石稅ヲ納メサルニ依リ滞納處分ヲ執行スルトキハ先ツ保證物又ハ保存ノ義務ヲ有スル酒類ヲ公賣シテ稅金ヲ徵收ス

ヘシ但シ保證物又ハ保存ノ義務ヲ有スル酒類ノ價格徵收スヘキ稅金額及滞納處分費ニ對シ不足アリト認ムルトキハ同時ニ他ノ財產ニ就キ滞納處分ノ執行ヲ爲スコトヲ妨ケス

第十六條 酒類ヲ製造スル者造石稅ヲ完納スル能ハサルトキハ納稅保證人又ハ納稅ヲ擔保シタル酒造組合ノ各組員ハ納稅者トシテ其ノ義務ヲ負擔スルモノトス

第二十一條 酒類ヲ製造セサル者ノ製造シタル醗ハ他人ニ讓渡シ、質入シ、飲料トシテ消費シ又ハ政府ノ承認ヲ受ケシテ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第二十二條 免許ヲ受ケシテ酒類又ハ酒類製造用ノ酒母若ハ醗ヲ製造シタル者ハ二十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ニ依リ處罰セラレタル者又ハ間接國稅犯則者處分法第十一條ニ依リ處分セラレタル者ニハ其ノ造石數ニ應シ造石稅ヲ課ス但シ酒母、醗ハ第四條第一種ノ稅率ニ從フ

前項ノ造石稅ハ其ノ際直ニ之ヲ納ムヘシ

第二十三條 中「百圓ヲ二百圓ニ改ム」
第二十三條 中「酒類ヲ製造セサル者」第二十一條ノ禁令ヲ犯シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 中「前二條ニ依リ處罰セラレタル者又ハ間接國稅犯則者處分法第十一條ニ依リ處分セラレタル者ハ酒類製造シタル者トシ其ノ製造ニ係ル總石數ノ造石稅ヲ課ス」
前項ノ造石稅ハ其ノ際直ニ之ヲ納ムヘシ

第二十七條 中「受ケサル」ヲ「免レ又ハ免レムトシタル」ニ改ム
第三十五條 府縣及市町村ハ此ノ法律ニ依リ造石稅ヲ課スル酒類ニ對シ又ハ其ノ酒類ノ造石數若ハ造石稅ヲ標準トシテ府縣稅若ハ地方稅及市町村稅其ノ他如何ナル名義ヲ以テスルモ課稅スルコトヲ得ス
第三十八條 中「東京府管下小笠原島伊豆七島」ヲ削ル

附則
此ノ法律ハ明治三十二年一月一日ヨリ施行シ同日以後製成ニ係ル酒類ニハ其ノ製造著手ノ時期ニ拘ハラズ此ノ法律ヲ適用ス
此ノ法律施行前既ニ免許ヲ受ケタル者ニハ三十年度及三十一年度分ニ限リ第五條第二項ノ規定ヲ適用セス

（政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル）
○政府委員（目賀田種太郎君） 本案ハ稅率ヲ改正致シマシテ、歲入ノ増加ヲ求メマス、從來酒類ノ課稅法ハ唯釀造若クハ蒸溜等ノ區別ヲ以テ致シマシタケレドモ、追々ノ經歷ニ依リマシタル、結局酒精ノ程度如何ヲ以テ、稅率ヲ區別スルコトヲ必要ト考ヘマスカラ、此案ニ於テハ第四條ニ於テ、酒精ノ程度ヲ計ルノ方針ヲ執リマシテゴザイマス、其他ハ納期ヲ、十五日若クハ一月下ゲマシテ、納稅上ノ便利ヲ計ツタ譯デゴザイマス、尙又ハ擔保ノコト、其他腐敗酒ノ處分、此等ノコトニ就キマシテモ、成ルベク納稅者ノ利便ヲ計ツタ譯デアリマス、本案ニ於キマシテ、政府ガ歲入ノ増加ヲ主ト致シマスル所ハ、三十二年ニ於テハ、一千五百八十二萬餘圓ニナツテ居リマス、本案ニ歲入増加ノ一法トシテ、成ルベク速ニ御協賛ヲ完ウセラレンコトヲ希望シマス

○工藤行幹君（百二十五番） チョット質問致シマス、是マデノ造石稅ハ、濁酒ト清酒ト稅率ニ多少差ガアッタヤウニ思ヒマスガ、畢竟此清酒ヲ飲ムモノ

ト、濁酒ヲ飲ムモノト、大イニ違ヒガアラウト思フ、詰リ經濟ノ裕ナラヌモ
ノ、即チ貧民ガ濁酒ヲ飲ムノデ、是ハ安クシテ置カナケレバナラヌモノデア
ラウト思フ、然ルニ從來多少ノ差ノアツタモノニ對シテ、此度ハ同一ノ稅ヲ
課スルト云フハ、如何ナル理由ニ依ルノデアリマスガ、ツレヲ承リタイ
○政府委員(目賀田種太郎君) 全ク此精粕ノ多少ニ依ルコトデ、其實質ニ依
ルト、毫モ區別ハゴザイマセヌ、語ヲ換ヘテ申セバ、濁酒ハ清酒ニ比シテ、粗
製ナルモノ、若クハ稍、其品ノ低キモノト云フガ如キコトデゴザイマシテ、
清酒ノ中ニモ、自ラ品質ニ異否、又ハ價格ノ高低モゴザイマスカラ、此ニ至
テハ酒ノ清濁ニ就イテハ、完全ノ區別ヲ設クルコトハ、蓋シ難イコトデ、從前
ハ稅額ニ於テ一圓ノ差別ヲ設ケマシタガ、今ヤ追々一般ニ酒ノ消費モ進ミマ
シテ、段々濁酒ノ消費額ガ少ナクナリマスカラ、今日ニ於テ、此間ニ區別ヲ
設クルコトヲ必要ト認メタト云フ理由ニ外ナラヌデアリマス

○高木正年君(百四十四番) 酒造稅ノ第四條及未文ノ舊法ノ三十八條ノ、二
箇條ニ就イテ質問ヲ致シタイ、第四條ニ就イテハ、今工藤君ガチヨット云ハレ
テ答辯モアリマシタガ、私ガツレニ就イテ一言伺ヒタイコトガアル、工藤君
ノ言ハレタル如ク、從來清酒ト濁酒ト一圓ノ差ガアツタニ、本案ニハ均シク十
二圓ニナラセ居ル、唯今政府委員ノ言ハレタル如ク、無意味ニ考ヘタナラバ、
サウ云フ考ヲ持ツテ大藏省ハ觀察スルカ知ラヌガ、清酒ト濁酒ト同一ニ賦課
スルト、清酒ヨリ濁酒ガ、一割方高稅ニナル事實ガアル、清酒ハ申スマデモ
ナク、糟ヲ去リ及滓デ、一割強モ差引クモノガアル、一石ニ附イテ十二圓ヲ
課スルト、實際ニ一石ニ就イテ九斗ダケノ稅ヲ取ル、即チ十圓五十錢ノ稅ヲ
取ル、濁酒ハ是等ノ糟ヲ取ラヌタメニ、一石ハ一石ニ課稅スルト、濁酒ノ方
デ、一石ニ就イテ十二圓デアツテ、清酒一石ニ附イテ十圓五十錢ト云フコト
ガ生ズル、本年ハ財政ノ困難ナルタメニ、自家用料ヲ廢シタノハ已ムヲ得
ヌガ、自家用料ハ幾分カ資力アツテ飲ムモノデアルガ、然ルニ濁酒ヲ飲ムモ
ノハ、全ク下級ノ人ガ値ノ安イタメニ、或ハ勞働ヲ慰メ、若クハ翌日ノ勞働
力ヲ發スルタメニ、晚餐ノ時ニ飲ンデ、所謂濁酒ハ贅澤ニ飲ムニアラズシテ、
或ル地方ニ於テハ殆ド副食物ノ觀ガアル、然ルニ大藏省ノ目賀田君ノ云ハレ
ルガ如キハ、社會ノ狀態ニ心ヲ用ヒラヌ事柄デアツテ、濁酒ハ安クナラナ
ケレバナラヌニ、清酒ヨリ割高ニナラセ居ル

○議長(片岡健吉君) 議論ニナラヌヤウニ質問ノ要領ヲ……
○高木正年君(百四十四番) 斯ノ如キ稅ヲ課スルハ、大藏省デハ此間ニ如何
ナル意味ノアルコトデアアルカ、御答辯ヲ願ヒタイ、ツレカラ三十八條ノ舊稅法
ニハ、小笠原島伊豆七島ハ除クト云フ除外例ガアツタデアリマスガ、地理ノ
上カラモ、島ノ狀態カラモ、沖繩縣ト少モ變ラヌ、沖繩縣輸出稅ハ殖エテ居
ル、十二圓ニナラセ居ル、内地ニアツテハ稅ヲ掛ケナイデアアル、然ルニ小
笠原島伊豆七島ハ、今日除外例ヲ除イテ、内地ト均シク稅ヲ取ルハ、如何ナル
理由デアアル、實際斯様ナコトデハ、或ハ同島ハ殆ド南洋ニ近ク溫帶ニ屬スル
所カラ、慣習上酒ガ塞地ニ於ケル副食物ト同ジキ今日ノ有様ニナラセ居ル、
沖繩ハ除外例ヲ存シテ置クガ、伊豆七島ハ取ルト云フハ、如何ナル理由ニ
依ルノデアアルカ此二箇條ニ就イテ明ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(目賀田種太郎君) 第一ノ御尋ハ、工藤君ニ申上ゲタ通、御尋ニ
於テ御心配ノ如キ區別ヲ見ヌト云フニ止リ他ノ意味ハナイノデ、又小笠原
島伊豆七島ニハ、内地同様ニ酒稅ヲ増課シテ、沖繩ハ増サヌカト云ヘバ、沖

繩ノ方ハ少シク異ル所ガアラウト思ヒマス、全體沖繩縣ノ方ハ、既ニ豫算ニ
於テモ御覽デアアルガ如ク、大イニ將來ハ制度及稅制ノ改正ヲ計ツテ居リマス、
今日ノ所デ夫等ノタメニ加ヘヌノデ、今ノ小笠原島伊豆七島ノ方ハ、大イニ
異ツテ居ルト思ヒマス、小笠原島伊豆七島ハ、一般的ニナシ最早今日ニ於テ
取除ヲ存セズシテ之ヲ廢スルヲ適當ト認メタ譯デアリマス
○議長(片岡健吉君) 格別御質議ガゴザイマセヌケレバ、第二ノ日程ニ移リ
マス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 此委員ハ十八名ト致シマス、ツレハ此以後ニ於ケ
ル酒類ニ關スル、諸問題ヲ同一委員ニ付託スル考ヲ以テ、十八名ノ委員ヲ議長
指名ニ致スコトニ……

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 恆松君ノ此委員ハ、十八名ヲ議長ノ指名ニシタイト云
フコトデアリマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス
○恆松隆慶君(九十七番) 以下第五ヨリ十七マデ、凡テ酒類ニ關スルモノデ
アリマス、此案ニ就イテハ政府委員モ、出タリ這入ッタリ、引込ンダリ出張ッ
タリスルヨリ、一緒ニ説明セラレタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、一括シテ
御説明アラフコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 第五カラ第十三マデト云フコトデアリマスガ、明瞭ニ
ナリマセヌ……

○恆松隆慶君(九十七番) 第五カラ第十三マデ……

〔贊成々々〕ト呼ビ又十四マデト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第五カラ第十三マデヲ一緒ニ議シヤウト云
フ恆松君ノ御動議ニハ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ議事日程第五ヨリ第十三マデヲ玆ニ
議題ニ供シマス

- 第五 自家用酒稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 混成酒稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 酒精營業稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 醫藥用工業用酒精ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十三 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

自家用酒稅法廢止法律案

明治二十九年法律第二十九號自家用酒稅法ハ明治三十二年一月一日ヨリ之ヲ廢止ス
明治三十二年四月ニ於テ納付スヘキ製造稅ハ之ヲ徵收セス

混成酒稅法中改正法律案

明治二十九年法律第三十號混成酒稅法中左ノ通改正ス
第一條 此ノ法律ニ於テ混成酒ト稱スルハ左ニ掲クルモノヲ謂フ

一 酒精ト酒精ト非ラサル物品トヲ混和シテ酒類トナシタルモノ

二 酒精ト酒精ト非ラサル物品トヲ混和シテ酒類トナシタルモノ

三 一種ノ酒類ト酒類若ハ酒精ニ非ラサル物品トヲ混和シテ別種ノ酒類トナシタルモノ

四 二種以上ノ酒類ヲ混和シ又ハ二種以上ノ酒類ト酒精若ハ酒類ニ非ラサル物品トヲ混和シテ酒類トナシタルモノ

第二條 混成酒ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數ニ應シ一石金十三圓ノ割合ヲ以テ造石稅ヲ課ス但シ攝氏驗溫器十五度ノトキニ於テ原容量百分中酒精ノ容量二十ヲ超過スルトキハ百分ノ一ヲ増ス毎ニ本條ノ金額ニ一圓ヲ加

ス
混成酒元用トシテ酒造稅法ニ掲クル酒類ヲ製造スル者ニハ該稅法ヲ適用ス

第三條 酒造稅法ニ依リ酒類製造ノ免許ヲ得タル者政府ノ承認ヲ得テ製造場内ニ於テ其ノ製造ニ係ル酒類ニ原容量百分ノ二以內ノ燒酎ヲ混和スルトキハ其増加石數ノミニ課稅ス

第七條中「第二十二條」ノ下「第一項」ノ三字ヲ削ル
第九條中「東京府管下小笠原島伊豆七島」ヲ削ル

附則
此ノ法律ハ明治三十二年一月一日ヨリ施行ス

酒精營業稅法廢止法律案
明治二十六年法律第十七號酒精營業稅法ハ之ヲ廢止ス

附則
此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治二十六年法律第十七號酒精營業稅法廢止ノ年ニ係ル營業稅ニシテ翌年一月三十一日限納付スヘキモノニ關シテハ仍明治二十六年法律第十七號酒精營業稅法ニ依ル

醫藥用、工業用酒精ニ關スル法律案
酒造稅法ニ依リ造石稅ヲ課セラル酒類又ハ從價ニ倍半若ハ之ヲ從量ニ換算シタル輸入稅ヲ課セラル酒類酒精又ハ從價ニ倍半若ハ之ヲ從量ニ除ク外工業用ニ供スル者ニシテ政府ノ承認ヲ得テ毎回一石以上ノ酒類製造ヲ用スル者ハ其ノ造石稅ニ相當スル金額ノ下戻ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

附則
此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案
明治二十一年勅令第十二號沖繩縣酒類出港稅則中左ノ通改正ス

第一條 沖繩縣内ニ於テ製造シタル酒類ヲ帝國内ノ他ノ地方ニ移出スルトキハ其ノ石數ニ應シ左ノ割合ヲ以テ出港稅ヲ課ス

第一種	清酒、濁酒	一石	金十二圓
第二種	燒酎、酒精	一石	金十三圓
第三種	混成酒	一石	金十三圓
攝氏驗溫器十五度ノトキニ於テ原容量百分中酒精ノ容量第一種第三種ニ在テハ二十第二種ニ在テハ五十ヲ超過スルトキハ百分ノ一ヲ増ス毎ニ前項ノ金額ニ一圓ヲ加フ			

附則

此ノ法律ハ明治三十二年一月一日ヨリ施行ス

○西村淳藏君(六十二番) 十四マデデナイト跋ニナリマス

○恆松隆慶君(九十七番) 十四マデ

○議長(片岡健吉君) 議案ノ朗讀ハ省略シマス、政府委員目賀田種太郎君(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 自家用酒稅法廢止法案ハ、是ハ最前議ニ上リマシタル酒稅ノ増加ノタメニ必要ナコトデゴザイマシテ、是レ亦此案ノ協賛ヲ完ウセンコトヲ望ミマス、次ニ此混成酒稅法ハ現行ノ所ニ於キマシテハ、多少此稅法ノ闕如セルタメニ漏レテ居ル所デゴザイマシテ、往々稅稅ヲ謀ルトカ若クハ稅法ノ不備ニ乘シテ納稅ヲ免ル、ト云フヤウナ弊ガゴザイマス、其區別ヲ明ニ致シマシテ、一方ニハ清酒ノ稅ヲ増シ、又此混成酒ノ取締ヲ嚴重ニ致シマシテ、稅稅ヲ防グト云フ趣意ニ依ッテ出來テ居リマス、次ニ酒精營業稅法デゴザイマスガ、是ハ此次ノ日程ニゴザイマス所ノ關稅定率法ノ改正ト共ニ廢止ノコトヲ計畫致シタル所デゴザイマス、現行ノ酒精營業稅法ハ條文不備ノ嫌アリテ何分脫漏スル所ガ多ウゴザイマシテ、十分ナル取締ヲ得マセヌ、是ニ於テカ酒精ノコトニ就イテハ、關稅ヲ相當ナ程度ニ引上ゲルト云フコトヲ最モ良案ト見タ譯デアリマス、因テ其案ノ行ハル、トキニ於テ此酒精營業稅法ヲ廢スルト云フノ考デアリマス、是ハ關稅定率法ノ改正ニ於キマシテ、酒精ノ關稅ヲ上ゲルトキニハ、酒精本來ノ使用ニ供セラル、分ニ就イテ、酒精ノ關稅ヲ上ゲルトキニハ、甚ダ宜シクナイコトデ、御承知ノ通酒精ハ醫藥用工業用ニ供セラル、モノモ隨分多ウゴザイマシテ、殆ド一萬五千石程モツレ等ノタメニ供セラル、コトデアリマス、此分ニ就イテハ輸入稅ナリ又內國ノ酒精ニ對スル所ノ稅ナリ、使用ノ際政府ノ允許ヲ得マシタトキハ、右稅ヲ下戻ス、斯ウ云フコトニ致シマシタ、然スル場合ニ於テハ、一方ニハ酒精ノ工業又ハ醫藥等ニ用フル需要ノタメニ輸入ヲ妨グルト云フコトハ更ニナク、又一方ニ於テハ關稅定率ノ改正ニ因ッテ其酒精ガ清酒ヲ模擬スルコトニ使ハレマシテ、內國ノ清酒營業ヲ妨グルト云フコトヲ妨グノ道ニナリマス、カラ一舉兩得ト云フタメニ此案ヲ提出シタル譯デアリマス、又次ノ日程ニゴザイマス所ノ沖繩縣ノ酒類出港稅ノコトデアリマス、是ハ內地ノ稅率ト權衡ヲ保ツタメニ過ギナイ譯デアリマス、原案通一ト束トシテ各員ノ協賛ヲ得ンコトヲ望ミマス

○恆松隆慶君(九十七番) 第五ヨリ第十四マデヲ一括シテ議題ニナリマシタガ、是ハ前ノ第三ノ酒造稅法改正法律案ノ委員十八名ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君ノ發言ノ通、今ノ第五ヨリ第十三マデノ

議案ヲ前ノ十八名ノ委員ニ付託スルコトニ、御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 十五ヨリ十八マデハ、矢張關聯シタ問題デゴザイ
マスカラ、一括シテ説明アラシコトヲ希望致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 議事日程第十五ニ移リマス

第十五 關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律 第一讀會

關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案

明治三十年法律第十四號關稅定率法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ
附屬稅表第一種第十五類ニ屬スル物品ニシテ攝氏驗溫器十五度ノトキニ
於テ原容量百分中酒精ノ容量六十五ヲ超過スルモノハ第六十九號酒精ノ
率ニ依リ課稅ス

第五條中第十一號ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
第十二 政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品
輸入稅表中左ノ通改ム

番 號	品 名	稅 率
六 九	酒精(アルコール)	二五、〇
三 七 九	卷煙草及小卷煙草	一〇、〇
三 八 〇	紙卷煙草	一〇、〇
三 八 一	嗅煙草	一〇、〇
三 八 二	刻煙草	一〇、〇
三 八 四	其ノ他諸製煙草	一〇、〇
三 八 八	支那酒	一〇、〇
三 九 三	甲 蒸溜シタルモノ	一〇、〇
三 九 八	乙 釀造シタルモノ	一〇、〇
三 九 九	清酒(内地釀造類似ノモノ)	一〇、〇
三 九 九	其ノ他各種ノ酒類	一〇、〇

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 此法案ニ於キマシテハ、第一ニ改正ヲ要スル
ノ點ハ次ノ日程ニ於テ御承知ノ如ク、葉煙草ハ外國ヨリ輸入スルトキハ、政
府ノ手ニ因ッテノ輸入スル故ニ、專賣法改正案ガ出テ居リマス、其事ハ嘗
テ葉煙草專賣法ノ制定ノ時ヨリ考テ有ッテ居タコトデゴザイマシテ、專賣
法ニシテ外國輸入ノ葉煙草ヲ專賣スルニアラザレバ、完全ナルモノトハ云ハ
レマセヌ、今ヤ丁度其案モ提出ニナッテ居リマス、然レバ其國家專賣品ハ關
稅ヲ免ズルト云フコトヲ必要ト致シマス、第一ニ此稅ノ改正ノ必要ヲ
認メマス、第二ニ最前陳述致シタル通酒精ノ關稅ヲ高メルニハ、是ハ全ク

内地ニ於テ酒精ヲ以テ、右清酒ヲ造ルコトヲ防遏致シタイト云フノ點ニ外ナ
ラナイ、酒精ノ本來ノ使用ヲ防グルト云フコトデハ毫モゴザイマセヌ、又卷
煙草ノ類、是等ハ輸入ノ葉煙草ハ政府ガ專賣シテ、内國ノ葉煙草ト同一ノ收
入率ヲ以テ專賣所ニ於テ賣渡ス以上ハ、是ト權衡ヲ保ツガタメニ輸入ノ製造
煙草ニ對シテハ、相當ナル關稅定率ヲ上ゲマセヌケレバ權衡ヲ得マセヌ、ソ
レハ何デアルカト云フト、例ヘバ茲ニ外國ニ於テ葉煙草ノ刻マル原料ヲ
以テ、内國ニ參ル時分ニツレヲ政府ガ專賣シテ、ソレニ對シテ政府ガ相當
ノ收入率ヲ以テ拂渡ス、然ルニ一方ハ唯今ノ通四割デゴザイマス、右
ノ前申ス場合ト權衡ヲ得マセヌカラ、之ガタメニ今日ニ於テ、此關稅定率ヲ
相當ニ高ムルト云フコトヲ必要ト見タ譯デ、皆酒稅ニ伴ヒマシテ關稅率ヲ上
ゲルニ外ナラヌ譯デアリマス、次ノ案、間接國稅犯則者處分法ハ、是ハ今日ハ
北海道ニ於テ行ハレテ居リマセヌ、追々同道ノ發達ト共ニ又酒稅則ノ改正ト
共ニ、北海道ニ於テ此犯則處分法ヲ内地ト同様ニ執行スルコトヲ必要ト見タ
ニ過キヌデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第十六特別委員ノ選舉

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 委員ハ九名ニシテ議長ノ指名

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、九名ノ特別委員ヲ議長カラ指名スル
コトヲ發議ニナリマシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第十七ニ
移リマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十七 間接國稅犯則者處分法中改正法律案(政府 第一讀會)

間接國稅犯則者處分法中改正法律案

明治二十三年法律第八十六號間接國稅犯則者處分法中左ノ通改正ス

第二十條但書ヲ削ル

○議長(片岡健吉君) 今政府委員カラ説明ガアリマシタガ、質問ガアリマセ
ネバ第十八ニ移リマス

第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 前ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 是ハ少シ性質ガ違フヤウニ思ヒマスガ、前ノ委員ニ付
託スルト云フコトハ……

(違フ違フ別ダト呼フ者アリ) 異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(九十七番) 別デモ宜シウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 前ノ委員ニ付託シテ御異議アリマセヌカ

○門馬尙經君(百六十九番) 性質ガ違ヒマスカラ、別ノ委員ノ方ガ宜シウゴ
ザイマス

○議長(片岡健吉君) ヲレデハ前ノ委員ト、別ノ委員ト議ガ岐レマシタカ
ラ、採決致シマス、前ノ委員ニ付託シヤウト云フ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數デゴザイマス
○門馬崎經君(百六十九番) 別ノ委員ニ託スルト云フ說ヲ、チヨット申上ゲ
マス、(宜シイ宜シイ)ト呼フ者アリ、ドウシテモ是ハ別ノ委員ニ付託スルコ
トニナルダラウト思ヒマス
○議長(片岡健吉君) 別ノ委員ニ付託スルコトニ就イテ御異議アリマスマイ
カ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 御異議ナシトバ共通リ致シマス、議事日程ノ第十九ニ
移リマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員目賀田種太郎君

第十九 登錄稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

明治二十九年法律第二十七號登錄稅法中左ノ通改正ス
第二條 不動產ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ム

- 一 家督相續ニ因ル所有權ノ取得 不動產價格 千分ノ七
但シ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 二 遺產相續ニ因ル所有權ノ取得 不動產價格 千分ノ十二
但シ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 三 相續以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得 不動產價格 千分ノ二十五
但シ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 四 明治十九年法律第一號登記法施行前ニ取得シタル所有權ノ保存 不動產價格 千分ノ二
分割ニ因リテ受クル不動產ノ價格
- 五 共有物ノ分割 不動產價格 千分ノ五
- 六 永代ノ地上權ノ取得 不動產價格 千分ノ二十五
- 七 地上權、永小作權ノ取得 不動產價格 千分ノ二
存續期間十年未滿 千分ノ三
存續期間二十年未滿 千分ノ四
存續期間三十年未滿 千分ノ五
- 八 存續期間三十年以上 不動產價格 千分ノ五
但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登錄稅ヲ計算ス
- 九 賃借權ノ取得 不動產價格 千分ノ一
存續期間十年未滿 千分ノ二
存續期間十年以上 千分ノ一
- 十 存續期間十年以上 不動產價格 千分ノ一
但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登錄稅ヲ計算ス
- 十一 地役權ノ取得 不動產價格 千分ノ一
但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登錄稅ヲ計算ス
- 十二 華族世襲財產ノ創設 不動產價格 千分ノ一
先取特權ノ保存又ハ取得 千分ノ六
但シ債權金額ナキトキ又ハ先取特權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

- 十三 質權、抵押權ノ取得 債權金額 千分ノ六
但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵押權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 十四 質權、抵押權ノ保存 債權金額 千分ノ四
但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵押權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 十五 假押、假處分 債權金額 千分ノ六
但シ假押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモ
ノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 十六 相續財產ノ分離 不動產價格 千分ノ六
所有權以外ノ權利ニ付テハ
- 十七 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登記ノ回復 不動產價格 千分ノ一
- 十八 假登記 不動產每一個 金二十錢
- 十九 豫告登記 不動產每一個 金二十錢
- 二十 附記登記 不動產每一個 金十錢
- 二十一 登記ノ更正、變更又ハ抹消 不動產每一個 金十錢
- 二十二 船隻ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ム
第三條
- 一 家督相續ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ三
但シ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 二 遺產相續ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ六
但シ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 三 相續以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ十二
但シ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
- 四 明治十九年法律第一號登記法施行前ニ取得シタル所有權ノ保存 船舶價格 千分ノ一
- 五 賃借權ノ取得 船舶價格 千分ノ一
存續期間十年未滿 千分ノ二
存續期間十年以上 千分ノ一
- 六 存續期間十年以上 船舶價格 千分ノ一
但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登錄稅ヲ計算ス
- 七 質權、抵押權ノ取得 債權金額 千分ノ六
但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵押權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 八 質權、抵押權ノ保存 債權金額 千分ノ六
但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵押權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 九 競賣ノ申立 債權金額 千分ノ六
但シ競賣ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモ
ノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

八	假差押、假處分	債權金額	千分ノ四
	但シ假差押假處分ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス		
九	抵當アル債權ノ差押	債權金額	千分ノ六
	但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス		
十	登記ノ更正、變更又ハ抹消	船舶每一個	金十錢
第四條	船籍ノ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ		
一	新規登録	每十噸	金五十錢
二	轉籍	每十噸	金十錢
三	除籍	每十噸	金十錢
四	登録ノ變更	船舶每一個	金十錢
	船舶ノ噸數ハ總噸數ニ依ル但シ十噸未満ノ噸數ハ十噸トシテ計算ス		
	石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在テハ積石數百石ヲ十噸トシテ計算ス		
第六條	商事會社其ノ他營業利ヲ目的トスル法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ但シ第一號第三號第六號第九號ノ場合ニ於テ稅金額十圓未満ナルトキハ十圓トス		
一	合名會社、合資會社設立	財產ヲ目的トスル出資ノ價格	千分ノ三
二	合名會社、合資會社出資増加	財產ヲ目的トスル出資ノ價格	千分ノ三
三	株式會社設立	拂込株金額	千分ノ四
四	株式會社資本増加	増資拂込株金額	千分ノ四
五	株式會社第二回以後ノ株金拂込	每回拂込株金額	千分ノ四
六	株式合資會社設立	拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格	千分ノ四
七	株式合資會社資本増加	増資拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格	千分ノ四
八	株式合資會社第二回以後ノ株金拂込	每回拂込株金額	千分ノ四
九	合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立	拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格	千分ノ一
十	合併ニ因ル會社資本ノ増加	増資拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格	千分ノ一
十一	債券發行	債權總金額	千分ノ一
十二	本店設置	每一個所	金十圓
十三	支店又ハ支店ノ移轉	每一個	金五圓
十四	支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅	每一個	金五圓
十五	登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止	每一個	金五圓
	但シ商法施行法ニ依リ新ニ登記スヘキ事項ノ登記ハ登記事項ノ變更ト看做ス		
十六	登記ノ更正又ハ抹消	每一件	金五圓
十七	解散	每一件	金三圓
十八	清算人ノ選任、解任又ハ變更	每一件	金一圓

十九	清算ノ結了	每一件	金一圓
	支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金一圓ノ登録稅ヲ納ムヘシ		
	財團法人又ハ營業利ヲ目的トセサル社團法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ		
一	法人ノ設立(民法施行法ニ依リ法人ト認メラレタルモノノ新ニ受クル登記トモ)	每一件	金五圓
二	法人設立後ノ事務所設置	每一件	金三圓
三	事務所ノ移轉	每一件	金二圓
四	登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止	每一件	金一圓
五	登記ノ更正又ハ抹消	每一件	金一圓
六	清算人ノ選任、解任又ハ變更	每一件	金五十錢
七	清算ノ結了	每一件	金五十錢
八	主たる事務所ニアラサル事務所所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金五十錢ノ登録稅ヲ納ムヘシ		
第六條ノ二	左ノ事項ニ付登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ		
一	商號ノ新設又ハ取得	每一件	金五圓
二	支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅	每一件	金五圓
三	船舶管理人ノ選任又ハ代理權ノ消滅	每一件	金五圓
四	商法第五條第七條ニ依リ登記	每一件	金二圓
五	民法第七百九十四條第七百九十五條及第七百九十七條ニ依リ登記	每一件	金二圓
六	登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止	每一件	金一圓
七	登記ノ更正又ハ抹消	每一件	金一圓
八	支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金五十錢ノ登録稅ヲ納ムヘシ		
第九條	左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ海員ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ		
一	新規登録		
	甲種船長	金十五圓	
	甲種一等運轉士	金十圓	
	乙種船長	金十圓	
	乙種一等運轉士	金十圓	
	乙種二等運轉士	金四圓	
	丙種船長	金六圓	
	丙種運轉士	金二圓	
	機關長	金十五圓	
	一等機關士	金十圓	

二等機關士
三等機關士
水先人

二 登錄事項ノ變更 每一件 金六圓
第十條 著作權ノ登錄ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ 金三圓
一 文學、科學、美術ノ著作物 金二十圓
一 新聞紙及定期刊行物 金十圓
一 著作權ノ讓渡又ハ質入 金五十圓
一 無名又ハ變名著作物ノ著作權ノ實名登錄 金五圓

第十四條 礦業ニ關シ左ノ事項ヲ官簿ニ登錄スルトキハ記名者ハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ
一 試掘 金七十五圓
二 試掘 金五十圓
三 試掘増區及増減區ニ係ル訂正 金三十圓
四 試掘増區及増減區ニ係ル訂正 金七十五圓
五 買受ノ讓受 金七十五圓
六 探掘權書入又ハ試掘延期 金二十圓
七 減區ニ係ル訂正 金十五圓
八 鑛區ノ合併又ハ分割 金十五圓
九 廢業 金五圓

第十六條 國債ノ登錄ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ
一 新規登錄 債權金額 千分ノ二
二 登錄變更 債權金額 千分ノ一
三 登錄除却 債權金額 千分ノ一

第十九條 左ニ掲クルモノニハ登錄稅ヲ課セス
一 政府ノ利益ノ爲ニスル登記
二 公立ノ學校、病院及養育院ノ所用ニ係ル不動産ノ登記
三 公園、社寺、堂宇ノ敷地及墳墓地ニ係ル登記
四 不動産登記法第五百六條ニ依ル登記

第十九條ノ二 登記所ニ於テ登記申請者ノ申告シタル課稅標準ノ價格ヲ不當時認ムルトキハ二名ノ評價人ヲ選定シ之ヲ評價セシム評價一致セサルトキハ其ノ平均ヲ以テ之ヲ定ム
前項ノ評價申請價格ヨリ多キトキハ評價人ニ給スル旅費手當ハ登記申請者ノ負擔トス
官吏及當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者ハ評價人トナルコトヲ得ス

此ノ法律ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
○政府委員(目賀田種太郎君) 登錄稅法ハ民法商法施行ノタメニ、大イニ登記事項ヲ増シタ譯デゴザリマス、又之ト同時ニ不動産船舶ノ所有權、若クハ抵當權ノ取得、若クハ商事會社ノ登錄、若クハ鑛業權ノ取得、若クハ讓渡ニ於キマシテ、適度ニ多少ノ稅率ヲ上ゲマシテ、歲入ノ増加ヲ求ムルノ案ニ過ギマシテ、是レ亦他ノ案ト共ニ協贊ヲ完フセンコトヲ希望シマス、此案ニ於キマシテ増シマスル所ハ、百七十萬六千圓餘デゴザイマス、此案ニ就イテハ別ニ費用ヲ要サヌ譯デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 御質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第二十特別委員ノ選舉

第二十 右讀案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○恆松隆慶君(九十七番) 此委員ハ昨日木村君ガ提出セラレマシタ所ノ登錄稅ノ委員ガゴザイマス、其委員ニ付託セラルンコトヲ希望致シマス
(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 過日木村君カ提出セラレタ所ノ登錄稅法中改正法律案ノ委員デスカ
○恆松隆慶君(九十七番) サウデス、其委員ニ付託シタイ
○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君カラ、此議事日程ノ第十九ハ、登錄稅法中改正法律案ガ木村君カ提出セラレテ居ル、其登錄稅法中改正法律案ノ委員ニ付託スルト云フコトデアリマスガ、御異議アリマスマイカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通過シマス、議事日程ノ第二十一葉煙草專賣法中改正法律案ノ第一讀會、朗讀ヲ省略致シマス、政府委員仁尾惟茂君

第二十一 葉煙草專賣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
明治二十九年法律第三十五號葉煙草專賣法中左ノ通改正ス
第二條 葉煙草ハ政府ノ收納シ又ハ輸入シテ賣渡スヘシ
第九條 削除
第十五條中「收納シ」ヲ「收納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ」ニ改ム
第十九條ノ二 葉煙草ハ總テ定價ヲ以テ賣渡スモノトス
但シ必要ト認ムル場合ニ於テハ競賣ニ付スルコトヲ得
第十九條ノ三 何人ヲ問ハス政府ヨリ賣渡ササル葉煙草ノ讓渡ヲ受クルコトヲ得ス
第十九條ノ四 葉煙草ハ政府ノ外之ヲ外國ヨリ輸入スルコトヲ得ス
第十九條ノ五 政府ヨリ賣渡ヲ爲ササル葉煙草ヲ所持スル者アルトキハ何人ノ所有ヲ問ハス政府ハ之ヲ收納シ第四條ニ準シテ其ノ賠償金ヲ交付スヘシ

第二十條ニ左ノ一項ヲ加フ
煙草製造ヲ業トスル者若ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者葉煙草ヲ耕作シタルトキ亦前項ニ同シ
第二十一條 葉煙草ヲ耕作スル者政府ニ納付スヘキ葉煙草ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキ又ハ何人ヲ問ハス情ヲ知リ政府ヨリ賣渡ササル葉煙草ノ讓渡ヲ受ケタルトキ又ハ氏名居所不明ノ者ヨリ葉煙草ヲ讓渡ササルトキハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ノ現存スルトキハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス
第二十四條 削除
第二十八條中「葉煙草ヲ耕作スル者」ノ下ニ「又ハ煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者」ヲ加フ
第三十條 特別ノ狀況アル地方ニ限り勅令ヲ以テ本法ヲ施行セサルコトヲ指定スルコトヲ得

○政府委員(目賀田種太郎君) 登錄稅法ハ民法商法施行ノタメニ、大イニ登記事項ヲ増シタ譯デゴザリマス、又之ト同時ニ不動産船舶ノ所有權、若クハ抵當權ノ取得、若クハ商事會社ノ登錄、若クハ鑛業權ノ取得、若クハ讓渡ニ於キマシテ、適度ニ多少ノ稅率ヲ上ゲマシテ、歲入ノ増加ヲ求ムルノ案ニ過ギマシテ、是レ亦他ノ案ト共ニ協贊ヲ完フセンコトヲ希望シマス、此案ニ於キマシテ増シマスル所ハ、百七十萬六千圓餘デゴザイマス、此案ニ就イテハ別ニ費用ヲ要サヌ譯デゴザイマス

政府ノ外本法ヲ施行セサル地ヨリ葉煙草又ハ製造煙草ヲ本法施行地ニ移入スルコトヲ得シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ノ現存スルトキハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第三十二條 次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三十三條 外國ヨリ輸入スル葉煙草ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ其ノ施行期日ヲ定ム

(政府委員專賣局長仁尾惟茂君演壇ニ登ル)

○政府委員(仁尾惟茂君) 本案改正ノ要旨ニ就キマシテ、一應大體ノ説明ヲ致シマス、葉煙草專賣法ハ、本邦デハ始メテ施行ニ係リマシテ、施行以來ノ實驗ニ徴シマシテ、改正増補ノ必要ヲ認メマス、改正ノ重ナル點ニ就キマシテ申述ベマスレバ、現行法ニ於キマシテハ、內國葉煙草ノ專賣ノミニ致シマシテ、外國產輸入葉煙草ニ及ビマセヌ、即チ國法範圍外トナツテ居リマス、マメニ、彼此ノ均衡ヲ失シマシテ、完全ナル專賣權ノ執行ヲ爲スコトガ出來ヌノデアリマス、今ヤ改正ノ時機ヲ得マシタノデ、葉煙草ハ產出ノ如何ヲ問ヒマセズ、國ノ内外ヲ問ヒマセズ、總テ政府ガ同一ニ之ヲ專賣致シマシテ、サウシテ彼此ノ均衡ヲ保ツテ、專賣法ノ目的ヲ達セント欲シマス、又次ニハ本法ニ最モ關係ノ重要ナル賣渡ノ方法ニ關シマスルコト、及不正品ノ取締ニ關スルコト等デアリマスノデ、十分御調査ヲ經テ、速ニ御贊同アラシコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 御質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第二十二特別委員ノ選舉ニ移リマス

第二十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 九名ノ委員、議長選舉デアリマス

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ選舉致シマシテ、御異議アリマスマイカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第二十三沖繩縣船稅廢止法律案ノ第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員目賀田種太郎君

第二十三 沖繩縣船稅廢止法律案(政府提出) 第一讀會

沖繩縣船稅廢止法律案

沖繩縣船稅ハ明治三十一年一月一日以後ハ之ヲ廢止ス

(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 沖繩縣ノ船稅ハ二種ニ分ツテ居リマス、月稅及航海稅ト爲ツテ居リマス、皆其船ノ帆ニ課ケマスル稅デゴザイマス、僅ニ十一圓程ノモノデゴザイマシテ、頗ル煩勞ニ互ルモノデゴザイマスカラ、整理ノタメニ此船稅法ヲ廢シマス

○議長(片岡健吉君) 御質疑ガアリマセネバ、議事日程ノ第二十四特別委員ノ選舉

第二十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 前ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 是ハ前ノ委員ニ付託シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ其通……

(「別ガ宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第二十五營業稅法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員目賀田種太郎君

第二十五 營業稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

營業稅法中改正法律案

明治二十九年法律第三十三號營業稅法中左ノ通改正ス

第十五條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ內國ト外國トニ涉リ店舖其ノ他ノ營業場數箇所アルトキ資本ヲ區分セサルモノハ內國ニ於ケル各店舖其ノ他ノ營業場ニ於テ使用スル資本金額ヲ見積リ各別ニ之ヲ課ス

第三十九條 次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四十條 第十五條第二項但書ノ規定ハ此ノ法律施行地ト此ノ法律ヲ施行セサル地トニ涉リ店舖其ノ他ノ營業場數箇所アル場合ニ之ヲ準用ス

(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 營業稅法中數箇所ニ互ル營業場ノコトガゴザリマスルケレドモ、內國ト外國トニ互ツテノ場合ガ明カデゴザイマセヌ、今ヤ一般ニ帝國ノ稅法ヲ内外國人ニ均シク適用スル場合ニ際シテ居リマスカラ、之ヲ明ニセンガタメニ、此改正案ヲ提出シタ譯デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質疑ガアリマセネバ、議事日程ノ第二十六特別委員ノ選舉ニ移リマス

第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十九番) 此特別委員ハ特ニ十八名則チ議長ノ指名ト云フトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 十八名デスカ

○恆松隆慶君(九十七番) エ、十八名デス

○議長(片岡健吉君) 十八名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シマシテ、御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程第二十七印紙稅法案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員目賀田種太郎君

第二十七 印紙稅法案(政府提出) 第一讀會

印紙稅法案

第一條 財產權ノ創設、移轉、變更若ハ消滅ヲ證明スヘキ證書、帳簿及財產權ニ關スル追認若ハ承認ヲ證明スヘキ證書ヲ作成スル者ハ此ノ法律ニ依リ印紙稅ヲ納ムヘシ

第二條 證書ニ關シテハ一通毎ニ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限り記載金高一万分ノ五ノ割合ヲ以テ印紙稅ヲ納ムヘシ但シ印紙稅額五十圓トナ

ルトキハ五十圓ニ止メ一錢未滿トナリ又ハ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ一錢ニ切上クルモノトス
金高記載ナキモ證書面ニ標記シアル價額ノ單位又ハ其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコトヲ得ルモノハ其ノ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス

第三條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以內ノ附込ニ對シテ下ニ定ムル所ノ印紙稅ヲ納ムヘシ

委任狀 印紙稅一錢
爲替手形 印紙稅二錢
約束手形 印紙稅二錢
銀行預金證書 印紙稅二錢
船荷證券 印紙稅二錢
運送貨物引換證 印紙稅二錢
倉荷預證券 印紙稅二錢
倉荷質入證券 印紙稅二錢
保險證券 印紙稅二錢
債券 印紙稅二錢
株式申込證 印紙稅二錢
地上權、永小作權、地役權ニ關スル證書 印紙稅二錢

使用貸借、貸貸借、雇傭、寄託、定期金ニ關スル契約證書 印紙稅二錢
定款及組合契約書 印紙稅二錢
權利ノ變更ニ關スル證書 印紙稅二錢
追認、承認ニ關スル證書 印紙稅二錢
物品切手 印紙稅二錢
賣買仕切書 印紙稅二錢
送狀 印紙稅二錢
受取書 印紙稅二錢
金高記載ナキ證書 印紙稅二十錢
通帳 印紙稅二十錢
判取帳 印紙稅二十錢

第四條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス
官廳又ハ公署ヨリ發スル證書、帳簿
官廳又ハ公署ニ職ヲ奉スル者ノ職務上發スル證書、帳簿
國庫金ノ取扱ニ關シテ發スル證書
慈善又ハ公共事業ノ爲ニスル金員物件ノ寄附ニ關シ人民ヨリ官廳若ハ公署ニ提出スル證書
俸給、給料、歳費、手當金、賞與金、年金、恩給金、扶助料、旅費及救恤金ノ受取書
小切手
金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ送狀又ハ受取書
主タル債務ノ證書ニ併記シタル擔保契約
證券ノ裏書及手形ノ裏面ニ記載シタル受取書
株券、債券ノ讓渡ヲ證明スヘキ裏面記載
手形ノ引受、保證

第一 手形及證券ノ拒絕證書
第五條 印紙稅ハ證書、帳簿ニ印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス但シ爲替手形、約束手形、船荷證券、運送貨物引換證、倉荷預證券、倉荷質入證券、保險證券、株券、債券ハ印紙稅額ニ相當スル現金ヲ政府ニ納付シテ稅印ヲ捺捺受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得
第六條 一冊ノ帳簿ヲ一年以上使用スルトキハ別帳簿ヲ調製シタルモノト看做ス
第七條 證書ニ外國貨幣ヲ以テ員數ヲ記載スルトキハ內國貨幣ニ換算シタル金高ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ
第八條 印紙ヲ貼用スルトキハ證書又ハ帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケテ判明ニ消スヘシ
第九條 印紙ヲ貼用スヘキ帳簿、賣買仕切書、送狀ハ當該官吏之ヲ檢査スルコトアルヘシ
第十條 證書、帳簿ニ相當印紙ヲ貼用セス又ハ第五條但書ニ依リ稅印ノ押捺ヲ受ケサル者ハ脫稅高二十倍ノ科料又ハ罰金ニ處ス
第十一條 第九條ノ檢査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第十二條 第八條ニ違背シタル者ハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
第十三條 此ノ法律ヲ犯シタル者ハ刑法ノ不倫罪、減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用井ス

附則
第十四條 此ノ法律ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第十五條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス
第十六條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ニ依ル手形用紙ニシテ此ノ法律施行ノ際自用者ノ所持ニ係ルモノハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍之ヲ使用スルコトヲ得
(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(目賀田種太郎君) 印紙稅法案ハ數年前ノ制定ニ懸リマシテ、今日ニ於テハ一般ノ社會ノ必要ニ適ハズ廉モ數多ゴザイマス、又民法モ商法モ行レマシタ今日ニ於テハ、尙更商業取引其他一般ノ取引ノ便利ヲ圖ルタメニ、速ニ改正スルコトヲ必要ト致シマス、本案ニ於キマシテハ小切手ノ課稅ヲ廢シマシタカラ、却ツテ是ハ減輕ニナリマスノデ、凡ソ三萬二千二百圓程減輕ニナリマス、(モウ一度願ヒマス)ト呼フ者アリ)三萬二千二百圓減輕ニナリマス、是ハ全ク一般商業取引ノ利便ヲ圖リマシタ法案デアリマス、速ニ御協贊アラントコトヲ望ミマス
○望月長夫君(十九番) チョット政府委員ニ御伺ガ致シタイガ、元ノ證券印稅規則ニハ、犯則ヲ致シタ證書ハ、處罰ヲ受ケタ後ニ所持人ガ印紙ヲ貼タ上デナケレバ、證據力ガナイト云フ意味ノ規定ガアツタ所ガ、今回ハ全クサウ云フ意味ノ條文ヲ削除シナリマシタダ、是ハ定メテ證書ノ效力ハ證書ノ效力デアル、犯則ノ處罰ハ犯則ノ處罰デアラト云フコトデ、區別サレタデアラハト信ジマスルガ、果シテサウ云フコトニシマスルト、御承知ノ通り此處罰ハ科料ト罰金、則チ違警罪輕罪デゴザイマスガ、現在ノ刑法ノ通ダト、違警罪ノ如キハ六箇月經テバ直チニ公訴ノ免除ニナル、ソレデ例ヘバ二百圓以下ノ貸金證書ノ如キハ、六箇月先キニ行用スルコトデアレバ、直チニ此證書ヲ使フ、次ニハ、モウ公訴ノ期滿免除即チ處罰ヲ受ケザルト同時ニ、今度ノ法案ダ

水害地方地租特別處分法案ノ第一議會
議案ノ朗讀ハ省曉致シマス

中特別委員ノ選舉
中特別委員ノ選舉

明治三十一年勅令第百七十號

三二

第三十一 水害地方地租特別處分法案(前川楨造君 第一讀會)

第一條 水害地方地租特別處分法案

第一條 本法ハ明治三十一年八月ヨリ十月迄ノ洪水ニ因リテ生シタル損害地ニ適用ス

第二條 荒地ニ至ラサルモ收穫皆無トナリタル土地ニ限リ明治三十一年分地租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十一年分ニ限リ之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ損害取調中ハ其地租ノ徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法施行前ニ徵收シタル既納ノ地租金ハ之ヲ還附ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴訟願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケントスル者ハ明治三十二年六月三十日迄ニ申出ツヘシ若此ノ期限内ニ申出テサルモノハ本法ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則

第八條 此ノ法律ニ依リテ特免シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セズ

(前川楨造君演壇ニ登ル)

○前川楨造君(百五十二番) 本案ヲ提出致シマスル趣意ヲ簡單ニ辯明ヲ致シマスル積リデ、本案ハ本年ノ八月ヨリ十月ノ間ニ於キマシテ、起リマシタル所ノ洪水ニ依リテ損害ヲ被リマシタル地租ノ免除ニ關スル所ノ法案デゴザイマシテ、既ニ先例ノ澤山アル話デ、明治二十四年度ニ於キマシテモ、岐阜愛知ノ震災ノ時ニ特免ヲ設ケラレ、又二十九年並ニ三十年度ニ於キマシテモ同様此水害ノタメニ起タル所ノ地租ヲ特免スルタメニ、本法ヲ設ケタ次第デゴザイマス、矢張り本年ニ於テモ、同様ナル所ノ損害デ、山梨縣長野縣新潟縣其他ノ諸縣ニ於キマシテ、非常ナル損害ノ起ッタト云フコトハ、諸君御承知ノ通りデゴザイマスカラ、矢張り前例ニ依リマシテ、此等ノ地方モ特免ノ部ニ入レマシテ、即チ此國家ガ救済ヲ圖ル所ノ趣意ヲ立テタイト云フ所カラ本案ヲ提出シタ所以デアリマス、速ニ御賛成下サツテ、本案ノ通過センコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 本案ハ前例モゴザイマスデ、全體即決ニシテモ宜イ程ノモノデゴザイマスガ、併シ免租ニ關係スル問題デゴザイマスカラ、制規ノ九名委員ヲ議長カラ指名サレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○高岡忠郷君(百二十九番) 百二十九番ハ唯今此建議者ノ前川君ガ云ハル、通り、前例モアリマシタルコトデ、所謂現在ノ法律ノ缺點デアル、シテ見マスレバ斯様ナル所ノ案ハ、矢張り前例ニ倣ヒマシテ、即決ニスルト云フコトヲ希望致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 委員付託ハ先決問題デゴザイマスカラ、今恆松隆慶君ノ委員付託カラ採決致シマス、特別委員九名ニ付託シヤウト云フ、是ニ同意

ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、九名ノ特別委員ニ付託致シマス——
チヨット諸君ニ御諮リ致シマスガ、明日議事ニ懸ルベキ議案ガ三ツシカアリマセヌ、明日ハ議事ヲ休ミマシテ、明後日ニ議會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、議事日程ヲ報告致シマス

(寺田書記官朗讀)

議事日程 第四號 明治三十一年十二月十日(土曜日)

午後一時開議

第一 葉煙草專賣資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三 地租條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五 田畑地價修正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第七 行政裁判法中改正法律案(利光鶴松君 外八名提出) 第一讀會

第八 辯護士法中改正法律案(利光鶴松君 外八名提出) 第一讀會

第九 營業稅法中改正法律案(加藤六藏君 外十四名提出) 第一讀會

○議長(片岡健吉君) 是ニテ散會致シマス

午後三時十二分散會